

媒体暗号化ソフト

(都道府県・市町村版)

Ver. 6

マニュアル

令和8年7月

国民健康保険中央会

改版履歴

版数	改訂日	該当頁 /該当項目	改訂の要点
1.0.0	2008/03/31		媒体暗号化ソフト（都道府県・市町村版）として新規作成
1.1.0	2008/08/25	19-①	回付情報に対するチェックについての説明を追加
		31	特別徴収の暗号化処理でのエラーメッセージ(No12)を追加
		31-①	特別徴収の暗号化処理でのエラーメッセージ(No13, No14)を追加
1.1.1	2009/03/31	3	伝送ソフト(都道府県・市町村版)のバージョンを変更
		4	動作環境のOSを変更(追加)
		26	バージョン情報を変更
		39	・「大変電話がつながりにくく」から「電話が大変つながりにくく」に変更 ・「毎月の送受信の際には、」から「毎月のご利用の際には、」に変更 ・問合わせ票のお問合わせ区分を変更
1.1.2	2010/07/26	4	・対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」のOSから、下記を削除 ・ Windows 2000 Professional ServicePack4 ・ Windows XP Professional ServicePack2 ・ Windows XP Home Edition ServicePack2 ・ Windows Vista Business ・ Windows Vista Home Premium ・ Windows Vista Home Basic ・ インストール時の注意事項を追加 ・ 64bit版OSに関する注意事項を追加
		39	・ 「国保中央会伝送ソフト」ホームページのURLを「http://www.kokuho.or.jp/kaigohelp/」から「http://www.kokuho.or.jp/KAIGOHELP/index_city_ver2.html」に修正
1.1.3	2011/01/18	4	・ 対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」のOSに下記を追加 ・ Windows Vista Business ServicePack2 ・ Windows Vista Home Premium ServicePack2 ・ Windows Vista Home Basic ServicePack2 ・ Windows 7 Starter ・ Windows 7 Home Premium ・ Windows 7 Professional ・ 64bit版OSに関する注意事項にWindows 7を追加
1.1.4	2011/08/15	4	・ 対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」のOSから、下記を削除 ・ Windows Vista Business ServicePack1 ・ Windows Vista Home Premium ServicePack1 ・ Windows Vista Home Basic ServicePack1

改版履歴

版数	改訂日	該当頁 /該当項目	改訂の要点
3.0.0	2012/03/30	表紙	バージョン及び作成日を変更
		1、3、4、5 7、12	マニュアルのバージョンを「Ver.1」から「Ver.3」に変更
		4	・対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」のOSの64Bit対応に伴い、下記に修正 ・Windows XP Home Edition (32Bit) ServicePack3 ・Windows XP Professional (32Bit) ServicePack3 ・Windows Vista Home Basic (32Bit) ServicePack2 ・Windows Vista Home Premium (32Bit) ServicePack2 ・Windows Vista Business (32Bit) ServicePack2 ・Windows 7 Starter (32Bit) ・Windows 7 Starter (32Bit) ServicePack1 ・Windows 7 Home Premium (32Bit・64Bit) ServicePack1 ・Windows 7 Home Premium (32Bit・64Bit) ServicePack1 ・Windows 7 Professional (32Bit・64Bit) ・Windows 7 Professional (32Bit・64Bit) ServicePack1 ・64Bit版OSに関する注意事項を削除 ・CD装置の記述を追加
		5、12	「Ver.1」から「Ver.3」へアイコンイメージを差し替え
		26	バージョン情報画面イメージ差し替え
		39	・「国保中央会伝送ソフト」ホームページのURLを 「http://www.kokuho.or.jp/KAIGOHELP/index_city_ver2.html」 から「http://www.kokuho.or.jp/system/software.html」 に修正
3.1.0	2013/03/29	2、30、31	・「自立支援」を「障害者総合支援」に変更
		12	・「自立支援」を「障害者」に変更
		1、5、6、7 8、9、15	・「障害者自立支援給付支払等システム」を「障害者総合支援給付支払等システム」に変更
	2014/03/10	4	・対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」のOSに以下を追加 - Windows 8 (64Bit) - Windows 8 Pro (64Bit) - Windows 8.1 (64Bit) - Windows 8.1 Pro (64Bit) 「動作環境」のOSから以下を削除 - Windows 7 Starter (32Bit) - Windows 7 Home Premium (32Bit・64Bit) - Windows 7 Professional (32Bit・64Bit) ・Windows XPについて、Microsoft社のサポート終了に伴い動作保証の対象外となる記載を追加

改版履歴

版数	改訂日	該当頁 /該当項目	改訂の要点
4.0.0	2015/03/31	表紙	バージョン及び作成日を変更
		1、3、4、7	「Ver.3」の文言を削除
		2、21	「媒体暗号化ソフト（年金特徴版）との互換性について」の記載を削除
		4	・対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」の「OS」に以下を追加 Windows 8.1 Update (64Bit) Windows 8.1 Update Pro (64Bit) 「動作環境」の「OS」から以下を削除 Windows XP Professional (32Bit) ServicePack3 Windows XP Home Edition (32Bit) ServicePack3 Windows 8.1 (64Bit) Windows 8.1 Pro (64Bit) ・Windows XPについて、Microsoft社のサポート終了に伴い動作保証の対象外となる記載を削除
		5、12	・「Ver.3」を「Ver.4」に変更 ・「Ver.3」から「Ver.4」へアイコンイメージを差し替え
		7	「年金特徴版からのバージョンアップについて」の記載を削除
		39	「国保中央会伝送ソフト」ヘルプデスク TEL、FAX の変更
4.1.0	2016/04/11	4	対応OSの変更に伴う修正 ・「動作環境」の「OS」から以下を削除 Windows 8 (64Bit) Windows 8 Pro (64Bit)
		4	・インストールについての案内から操作に関する権限記載を削除 ・操作についての案内を追加
	2017/03/27	4	・Windows Vistaについて、Microsoft社のサポート終了に伴い動作保証の対象外となる記載を追加
		39	・「国保中央会伝送ソフト」ヘルプデスク TEL、FAX の変更 ・最終ページにある問い合わせ票問い合わせ票のフォーマットを変更
4.2.0	2017/11/20	4	・対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」の「OS」に以下を追加 Windows10 Enterprise (64Bit) LTSC（バージョン：1607） 「動作環境」の「OS」から以下を削除 Windows Vista Home Basic (32Bit) ServicePack2 ※ Windows Vista Home Premium (32Bit) ServicePack2 ※ Windows Vista Business (32Bit) ServicePack2 ※ ・動作環境OSについての案内を削除

改版履歴

版数	改訂日	該当頁 /該当項目	改訂の要点
4.3.0	2018/05/21	1、6～8、15	・「障害者総合支援給付支払等システム」を 「障害者総合支援給付審査支払等システム」に変更
		5～7、9	・「障害者総合支援給付審査支払等システム」への名称変更に伴う 画面レイアウトの変更
		26	バージョン情報の画面イメージを変更
	2018/10/22	39	・「国保中央会伝送ソフト」ホームページのURLを 「 http://www.kokuho.or.jp/system/software.html 」から 「 https://www.kokuho.or.jp/system/care/software.html 」 に修正
5.0.0	2020/03/31	表紙	・バージョン及び作成日を変更
		目次	・「3. 4. 復号化処理」以降のページ番号を変更
		4	・対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」の「OS」に以下を追加 Windows 10 Enterprise (64Bit) LTSC 2019 (バージョン1809) 「動作環境」の「OS」から以下を削除 Windows 7 Starter (32Bit) ServicePack1 Windows 7 Home Premium (32Bit・64Bit) ServicePack1 Windows 7 Professional (32Bit・64Bit) ServicePack1
		5、12	・「Ver. 4」を「Ver. 5」に変更
		24	・エラーメッセージの圧縮ファイル拡張子を変更した画面に差替
		27	・バージョン情報画面イメージ差し替え
		5～40	・Windows10の動作画面に差替
		29～33	・暗号化処理でのエラーメッセージにおいて、出力されなくなっ たエラーメッセージを削除
5.0.1	2023/04/24	4	・対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」の「OS」から以下を削除 Windows 8.1 Update (64Bit) Windows 8.1 Update Pro (64Bit)
5.0.2	2023/08/31	4	・対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」の「OS」から以下を追加 Windows 10 Enterprise (64Bit) LTSC 2021 (バージョン21H2)

改版履歴

版数	改訂日	該当頁 /該当項目	改訂の要点
6.0.0	2025/04/21	表紙	・ バージョン及び作成日を変更
		4	・ 対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」の「OS」から以下を削除 Windows10 Enterprise (64Bit) LTSB (バージョン : 1607)
		5、12	・ 「Ver.4」を「Ver.5」に変更 ・ ショートカット画像イメージを変更
		27	・ バージョン情報画面イメージを変更
6.0.1	2026/07/03	4	・ 対応OSの変更に伴う修正 「動作環境」の「OS」に以下を追加 Windows 10 IoT Enterprise (64Bit) LTSC 2021 (バージョン 21H2)

0. はじめに

0.	1.	マニュアルについて	1
0.	2.	ソフト上の制限事項	2

1. 媒体暗号化ソフト導入手順

1.	1.	媒体暗号化ソフトの環境設定手順	3
1.	2.	動作環境の確認	4

2. 実行環境設定

2.	1.	媒体暗号化ソフトのユーザ情報設定	5
2.	2.	ユーザ情報設定後のフォルダ構成	1 1

3. 媒体暗号化ソフト操作手順

3.	1.	ログオン画面	1 2
3.	2.	メイン画面	1 3
3.	3.	暗号化処理	1 4
3.	4.	復号化処理	2 1
3.	5.	バージョン情報	2 7
3.	6.	終了操作	2 8

付録A. エラーメッセージ

A.	1.	暗号化処理でのエラーメッセージ	2 9
A.	2.	復号化処理でのエラーメッセージ	3 4
A.	3.	環境設定情報でのエラーメッセージ	3 8
A.	4.	その他のエラーメッセージ	4 0

付録B. ヘルプデスクへのお問い合わせ

B.	1.	ヘルプデスクへのお問い合わせ	4 1
----	----	----------------	-----

0. はじめに

0. 1. マニュアルについて

■ 本マニュアルについて

本マニュアルは、介護保険審査支払等システム、障害者総合支援給付審査支払等システム及び保険料特別徴収経由機関サブシステムで使用するデータについて暗号化／復号化を行う「媒体暗号化ソフト」の操作手順について記述しています。

国保連合会と媒体で受渡しするデータを暗号化することで、誤って第三者にデータが渡った場合でも、復号化のためのパスワード（暗号鍵）が無ければ内容を見ることができません。

都道府県／介護保険者／福祉事務所／市町村で作成した各業務のデータを暗号化し、媒体に出力する機能及び国保連合会から媒体で送付される暗号化されたデータを復号化する機能を搭載しています。

「媒体暗号化ソフト」の導入手順は別紙「国保中央会 伝送ソフト（都道府県・市町村版）インストール マニュアル」を参照し、導入してください。

0. 2. ソフト上の制限事項

■ 媒体情報交換時の国保連合会への暗号化申請について

・ 国保連合会への届出

各都道府県国保連合会へ、以下の情報の連絡及び媒体での情報交換において暗号化を行いたい旨の連絡を行います。

＜介護保険機能を使用する場合＞

- ・ 都道府県番号または保険者番号または福祉事務所番号

＜障害者総合支援機能を使用する場合＞

- ・ 都道府県番号または市町村番号

＜年金特徴機能を使用する場合＞

- ・ 市町村コード

（介護保険広域連合として情報交換を行う場合、
同広域連合の介護保険者番号の上5桁の番号）

・ 国保連合会からの通知

暗号鍵パスワード等が記載されている、「暗号鍵登録結果に関するお知らせ」が、後日郵送されます。

暗号鍵の設定については「2. 1. 媒体暗号化ソフトのユーザ情報設定」のユーザ情報の追加画面で行います。

暗号鍵の設定を行い、対象となるファイルを選択することにより、「媒体暗号化ソフト」で自動的にデータの暗号化、データの復号化を行いますので、本設定以外に暗号化について意識していただく必要はありません。

暗号鍵パスワードは国保連合会から送付される「暗号鍵登録結果に関するお知らせ」に記載されています。

1. 媒体暗号化ソフト導入手順

1. 1. 媒体暗号化ソフトの環境設定手順

以下の手順で環境設定を行います。

動作環境の確認

「1. 2. 動作環境の確認」へ



本ソフトのインストールについては、「国保中央会 伝送ソフト（都道府県・市町村版）インストールマニュアル」を参照してください。



実行環境の設定

「第2章 実行環境設定」へ

1. 2. 動作環境の確認

媒体暗号化ソフトが動作する環境を以下に示します。
動作する環境であることを確認後、インストール作業を行います。

項目	動作環境
パソコン	PC/AT互換機 (DOS/V機)
OS	Windows 10 Enterprise (64Bit) LTSC 2019 (バージョン1809) Windows 10 Enterprise (64Bit) LTSC 2021 (バージョン21H2) Windows 10 IoT Enterprise (64Bit) LTSC 2021 (バージョン21H2)
メモリ容量	各種OSの推奨するメモリ容量以上
ハードディスク容量	セットアップ用に300MB以上が必要
モニタ解像度	媒体暗号化のファイルを読み書きするための装置 (FD装置、MO装置、CD装置等)
データ交換用装置	1024×768ピクセル以上

●インストールについての案内

- ・本ソフトウェアのインストールは、必ずAdministrator権限のあるユーザでログインして行ってください。
- ・本ソフトウェアのインストールについては、「国保中央会 伝送ソフト（都道府県・市町村版）インストールマニュアル」を参照してください。

●操作についての案内

- ・本ソフトウェアは、Guestアカウントで操作しないでください。
※Guest アカウントとは、コンピュータまたはドメインの恒久的なアカウントを持たないユーザ用のアカウントで、ソフトウェアやハードウェアのインストール、設定の変更またはパスワードの作成を行うことはできません。

2. 実行環境設定

2. 1. 媒体暗号化ソフトのユーザ情報設定

媒体暗号化ソフトを起動し、ユーザ情報の設定を行います。

- ①デスクトップの媒体暗号化ソフトアイコンをダブルクリックします。
- デスクトップの [スタート]
- [すべてのプログラム(P)]
- [媒体暗号化ソフト
- (都道府県・市町村版)]
- [媒体暗号化ソフト
- (都道府県・市町村版) Ver. 6]
- でも同様の操作ができます。



媒体暗号化ソフトが起動し、[環境設定情報]画面が表示されます。

この画面はユーザ情報が設定されていない導入直後またはメイン画面のメニューバーの[オプション(0)]→[環境設定情報]で表示されます。

導入直後の起動時は、このタブが選択されています。

環境設定情報

介護保険審査支払等システム | 障害者総合支援給付審査支払等システム | 保険料特別徴収システム

使用するフォルダ

暗号フォルダ フォルダ指定 C:\¥NBA01¥DTA¥暗号

復号フォルダ フォルダ指定 C:\¥NBA01¥DTA¥復号

ユーザ情報

都道府県・保険者・福祉事務所番号	

追加

修正

削除

閉じる (C)

ユーザ情報の設定手順は、システムによって異なります。
ご使用のシステムに応じて、以下の手順で設定を行います。

	システム名	ユーザ情報の種類
1	介護保険審査支払等システム	都道府県・保険者・福祉事務所
2	障害者総合支援給付審査支払等システム	都道府県・市町村
3	保険料特別徴収システム	市町村

■ 1. 介護保険審査支払等システムをご使用の場合

② このタブが選択されていることを確認します。

③ 「都道府県・保険者・福祉事務所番号」と表示されていることを確認します。

■ 2. 障害者総合支援給付審査支払等システムをご使用の場合

② このタブを選択します。

③ 「都道府県・市町村番号」と表示されていることを確認します。

■ 3. 保険料特別徴収システムをご使用の場合

②このタブを選択します。

③「市町村番号」と表示されていることを確認します。

※注意※

以降の手順は「介護保険審査支払等システム」、「障害者総合支援給付審査支払等システム」及び「保険料特別徴収システム」で同じ手順であるため、本資料では「介護保険審査支払等システム」の保険者ユーザを例として説明します。

ユーザ情報の[追加]ボタンをクリックし、ユーザ情報追加画面を表示します。

④[追加]をクリックします。

⑤ユーザ情報を入力します。
以下の<ユーザ情報の項目説明>
を参照してください。

⑥[追加]をクリックします。

ユーザ情報の追加

ユーザ情報

都道府県・保険者・福祉事務所番号123456

暗号化の情報

暗号鍵 パスワード*****

追加

キャンセル(C)

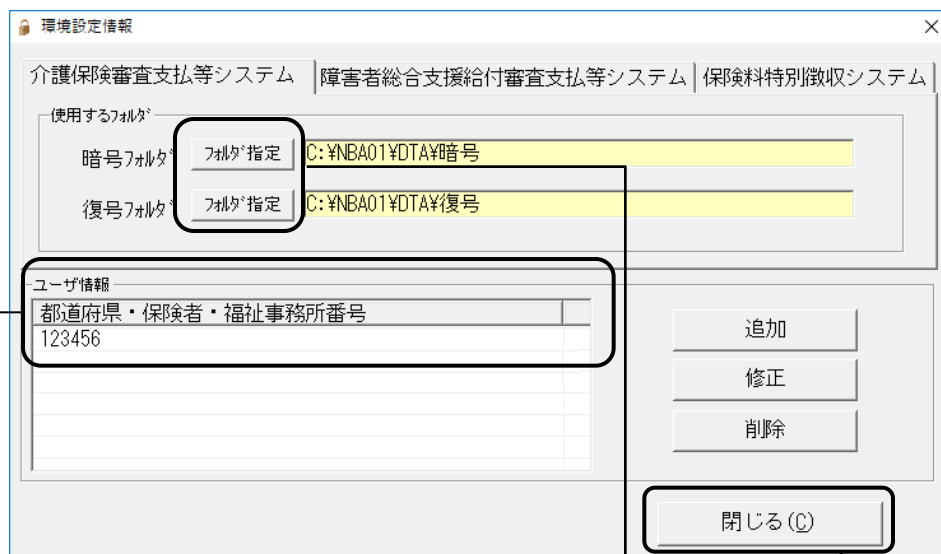
<ユーザ情報の項目説明 >

<項目>	<説明>
都道府県・保険者・福祉事務所番号 (介護保険審査支払等システムの場合)	以下のいずれかを入力します。 ・都道府県番号 (2桁) ・保険者番号 (6桁) ・福祉事務所番号 (8桁)
都道府県・市町村番号 (障害者総合支援給付審査支払等システムの場合)	以下のいずれかを入力します。 ・都道府県番号 (2桁) ・市町村番号 (6桁)
市町村番号 (保険料特別徴収システムの場合)	市町村番号 (5桁) を入力します。
暗号鍵パスワード	暗号化／復号化するためのパスワードです。 国保連合会から郵送される「暗号鍵登録結果に関するお知らせ」に記載されている“暗号鍵パスワード”の内容を入力します。 ※ アルファベットの“O”と“I”は、暗号鍵パスワードには存在しませんので、入力する際はご注意ください。 入力した値は“*”で表示されることから、入力ミスの防止のために、メモ帳等に一度「暗号鍵パスワード」を入力し、同値をコピー後、貼り付けすることをお勧めします。

[ユーザ情報]に追加した都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号が正しいことを確認します。

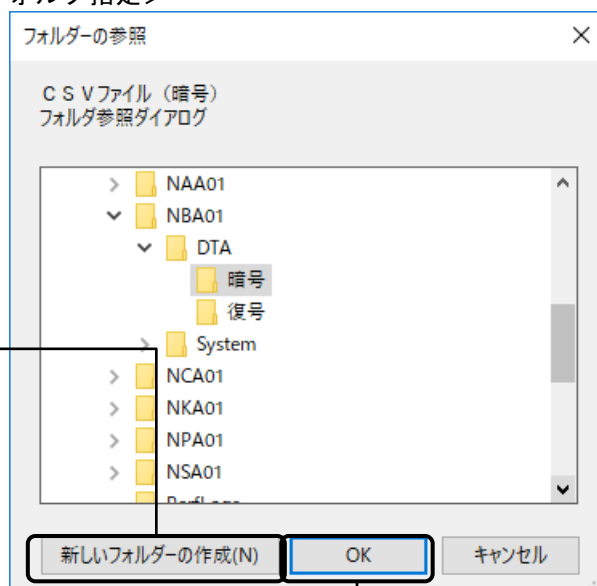
なお、都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号が誤っていた場合、誤った番号を選択し[削除]ボタンで削除します。その後、再度[追加]ボタンで追加処理を行ってください。

暗号鍵パスワードを変更する場合、[修正]ボタンで処理を行ってください。



フォルダの指定を変更する場合、[フォルダ指定]をクリックします。

<フォルダ指定>



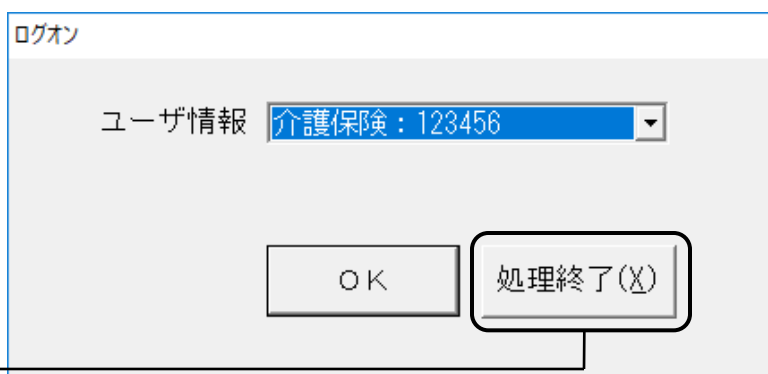
[新しいフォルダの作成(M)]をクリックしてフォルダを作成することもできます。

フォルダを指定して、[OK]をクリックすると、フォルダが変更されます。

⑦[閉じる(C)]をクリックします。

[ログオン]画面が表示されます。ユーザ情報を確認後、[処理終了]ボタンをクリックします。以上でユーザ情報の設定は終了です。なお、終了後に誤りに気づいた場合、一度ログオンを行いメイン画面のメニューバーの[オプション(O)]→[環境設定情報]で変更を行います。

⑧[処理終了(X)]をクリックします。終了確認のメッセージが表示されます。



<使用するフォルダの項目説明>

<項目>	<説明>
暗号フォルダ	暗号化されたデータを格納します。 ●都道府県／保険者／福祉事務所／市町村で作成した国保連合会向けデータを国保連合会へ送付するための暗号化媒体を作成する「暗号化处理」を選択された場合には、このフォルダを「変換先フォルダ」に表示します。 ●国保連合会から送付された暗号化媒体を復号化する「復号化处理」を選択された場合には、このフォルダを「変換元フォルダ」に表示します。このフォルダ配下に格納されているデータを復号化し、復号フォルダで指定したフォルダに格納します。
復号フォルダ	暗号化されていないデータを格納します。 ●国保連合会へ送付する暗号化媒体を作成する「暗号化处理」を選択された場合には、このフォルダを「変換元フォルダ」に表示します。このフォルダ配下に格納されているデータを暗号化し、暗号フォルダで指定したフォルダに格納します。 ●国保連合会から送付された暗号化媒体を復号化する「復号化处理」を選択された場合には、このフォルダを「変換先フォルダ」に表示します。

■リムーバブル媒体での運用

暗号フォルダ及び復号フォルダにハードディスクのフォルダを指定せずに、リムーバブルドライブ（FD装置、MO装置等）を指定することも可能です。

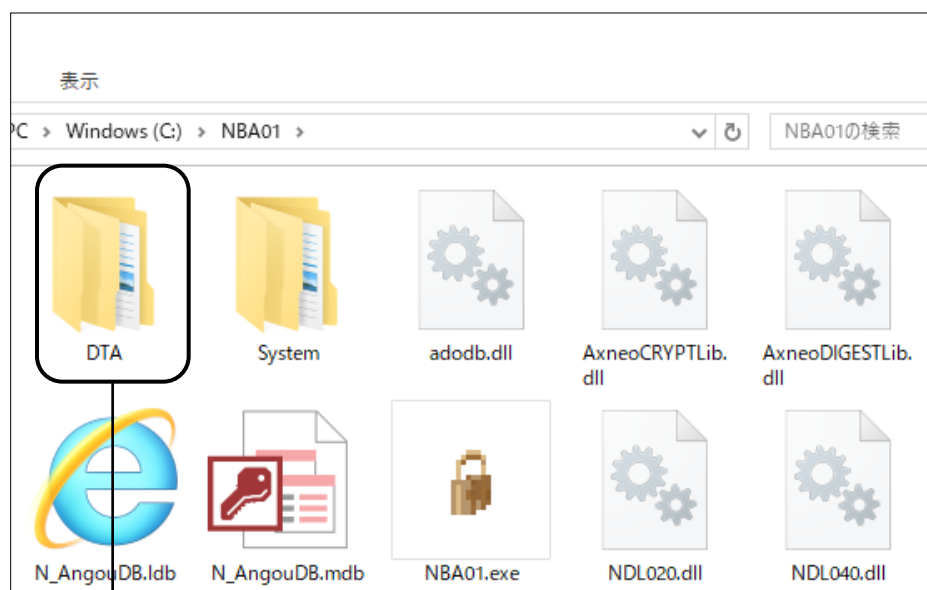
また、暗号フォルダ及び復号フォルダに同じリムーバブルドライブを指定することも可能です。

暗号化处理及び復号化处理で媒体セットの確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示された後に、格納する媒体に差し替えてください。

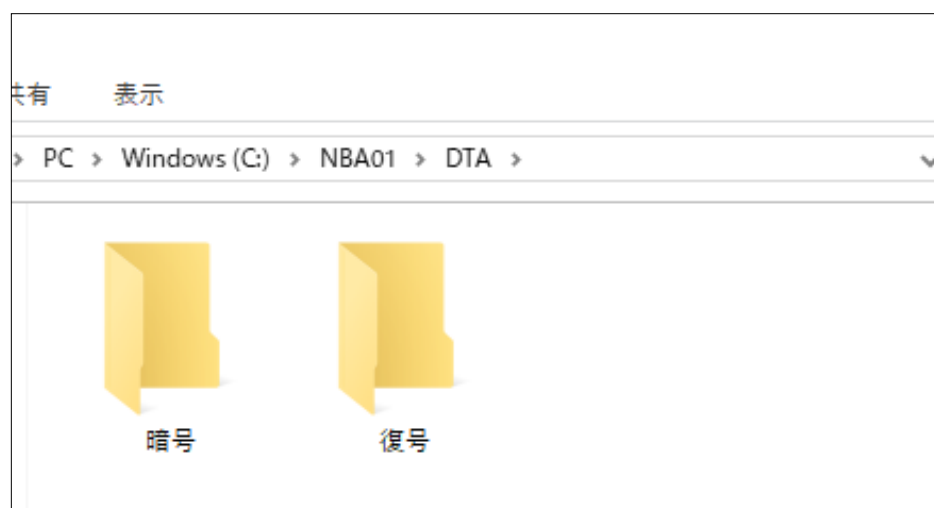
（運用については「3. 3. 暗号化处理」、「3. 4. 復号化处理」を参照してください。）

2. 2. ユーザ情報設定後のフォルダ構成

媒体暗号化ソフトをインストールしたフォルダ配下に「DTA」フォルダが存在します。



このフォルダが[環境設定情報]画面の[フォルダ指定]の初期設定になっています。



3. 媒体暗号化ソフト操作手順

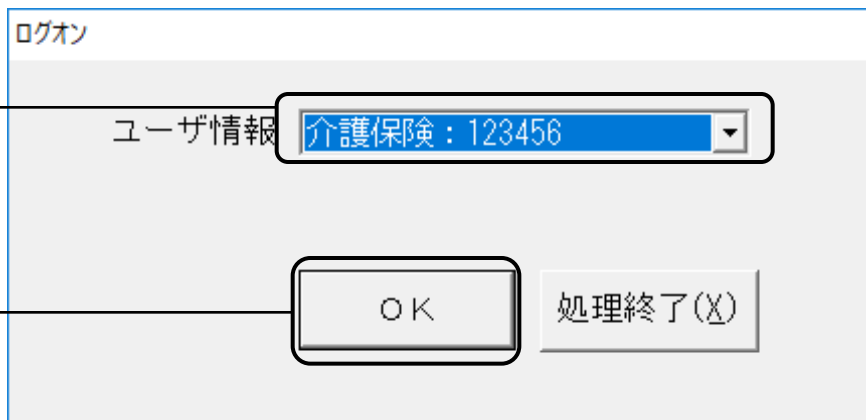
3. 1. ログオン画面

媒体暗号化ソフトを起動した時に最初に表示される画面がログオン画面です。
この画面で使用するユーザ情報を指定します。

- ①デスクトップの媒体暗号化ソフトをダブルクリックします。
デスクトップの [スタート]
→[プログラム(P)]
→[媒体暗号化ソフト
(都道府県・市町村版)]
→[媒体暗号化ソフト
(都道府県・市町村版) Ver. 6]
でも同様の操作ができます。



- ②[ユーザ情報]から、暗号化ファイルの受渡し先となるシステムの種類（介護保険／障害者／年金特徴）及び都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号を選択します。

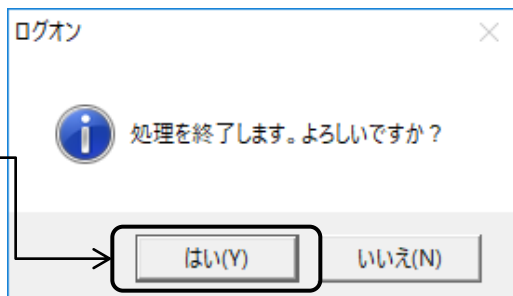


- ③[OK]をクリックします。

ログオン後にユーザ情報の切替を行う場合、媒体暗号化ソフトを一度終了します。
媒体暗号化ソフトを再起動し、[ログオン]画面で切替えたいユーザ情報に変更してください。

ログオン画面で、[処理終了(X)]をクリックされた場合、終了確認メッセージが表示されます。

[はい(Y)]ボタンをクリックすると媒体暗号化ソフトは終了します。



3. 2. メイン画面

ログオン実行後に、表示される画面がメイン画面です。

【メニューバー/ツールバー領域】
ツールバーには、暗号化／復号化の処理を実行するボタンが表示されています。

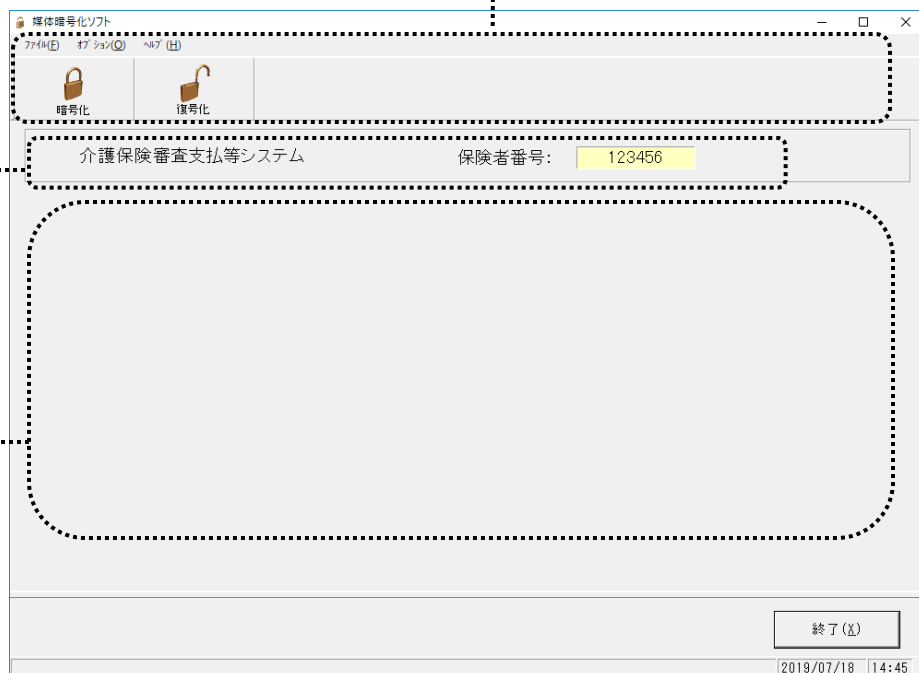
クリックすることで指定した処理を実行する画面が表示されます。
また、メニューバーの[ファイル(F)]にも同様の処理を実行するメニューが表示されます。

【ユーザ情報表示領域】

ログオンしたシステムの種類と、都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号が表示されます。

【暗号化／復号化処理領域】

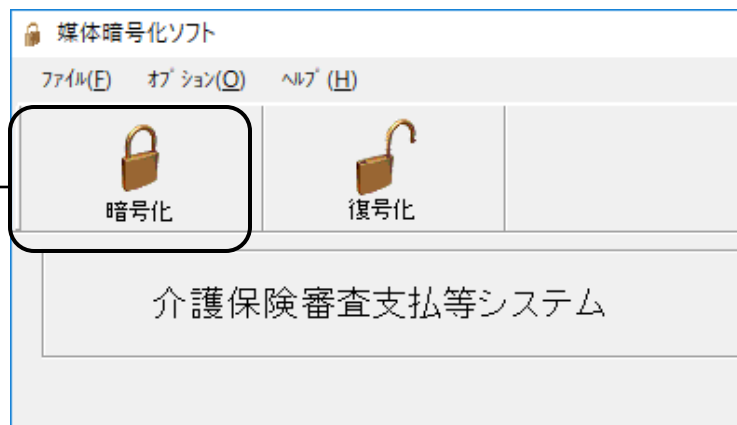
メニューバーまたはツールバーより[暗号化]または[復号化]を選択した時に表示されます。



3. 3. 暗号化処理

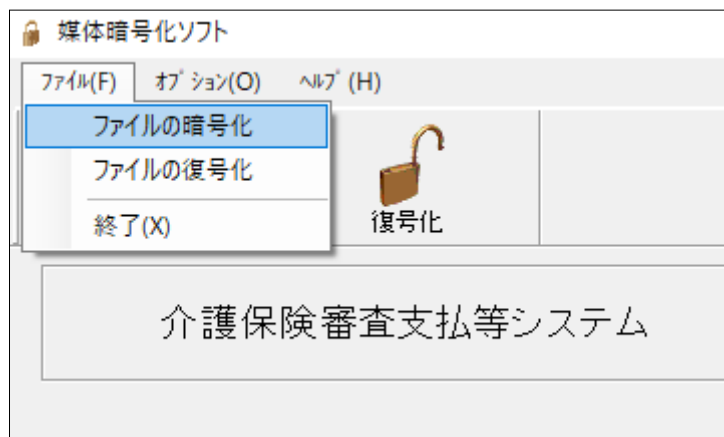
国保連合会へ渡すファイルを暗号化する場合に、暗号化処理を行います。

- ①[暗号化]をクリックします。
[ファイル(F)]→[ファイルの暗号化]でも同様の操作ができます。



変換元フォルダには環境設定情報で設定した復号フォルダが表示されます。

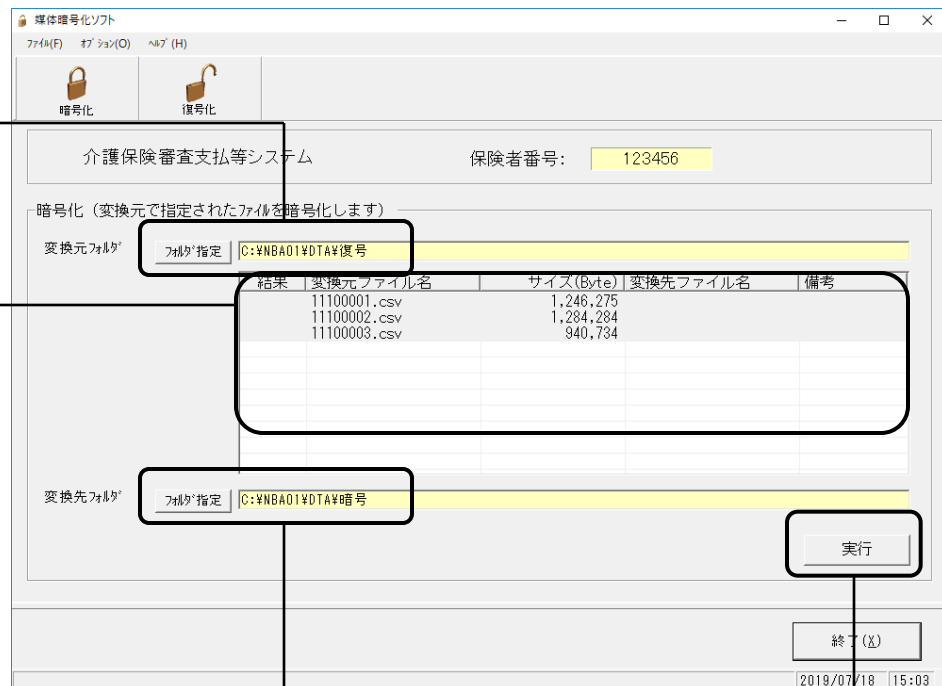
変換元フォルダに暗号化対象の拡張子（保険料特別徴収システムの場合、.DTA、その他の場合、.CSV）のファイルが存在した場合、[変換元ファイル名]にファイル名が表示されます。



- ②変換元フォルダを変更する場合は、[フォルダ指定]ボタンをクリックします。

- ③変換元ファイル名を選択します。
(初期表示時は、すべてのファイルが選択されています。)

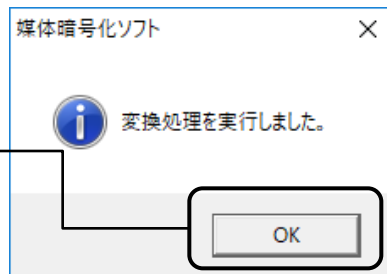
複数のファイルを同時に選択する時は、「Shift」キー、あるいは「Ctrl」キーを使います。連続したファイルを選択する時は「Shift」キーを、連続的でないファイルを選択する時は「Ctrl」キーを押したまま、変換元ファイル名をクリックして指定します。



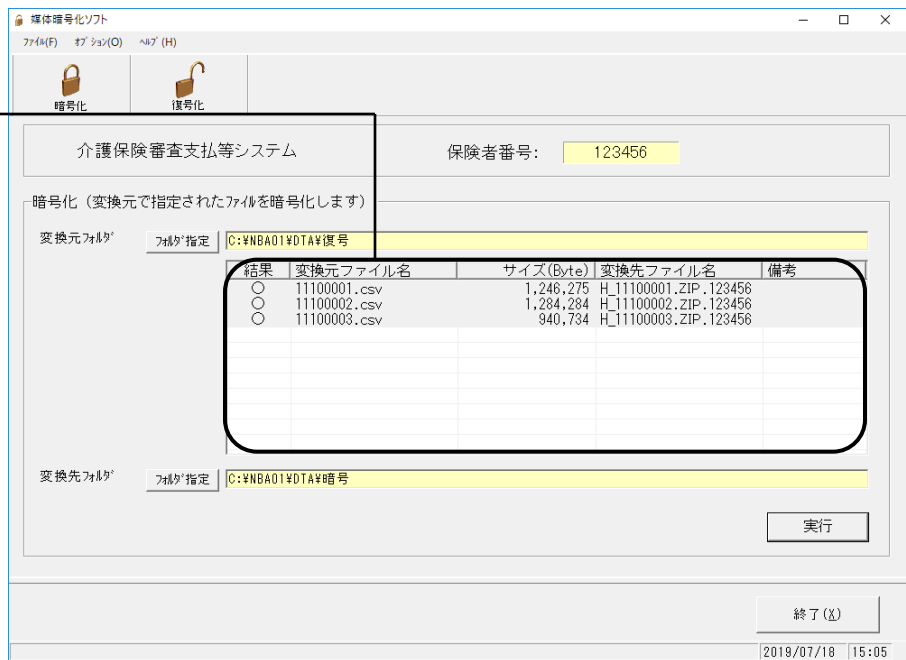
- ④変換先フォルダを変更する場合は、[フォルダ指定]ボタンをクリックします。

- ⑤[実行]ボタンをクリックします。
(暗号化処理が実行されます。)

⑥変換（暗号化）処理の実行が終了した場合に、表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。



[結果]、[変換先ファイル名]及び[備考]の各欄に処理結果が表示されます。



[結果]欄について

実行結果が表示されます。

「○」は正常終了、「×」はエラー発生を示します。

[変換先ファイル名]欄について

暗号化し変換先フォルダに格納するファイル名を示しています。変換元ファイル名の先頭にファイルの種類を表す文字と“_”を、末尾に拡張子として圧縮形式を表す“ZIP”と都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号を追加します。

この時、暗号化前のファイルの拡張子は削除されます。具体例は右の表を参照して下さい。

[備考]欄について

実行結果のエラー情報を表示します。「暗号化エラー」、「上書きしない」、「コピーエラー」、「ファイルIOエラー」、「使用禁止文字エラー」が表示されます。

(各エラー内容の詳細は「付録A. エラーメッセージ」を参照)

<暗号化ファイル名の例>

システムの種類とユーザの種類	暗号化ファイル名の例
介護保険審査支払等システム 都道府県（2桁）	52100001. CSV ⇒K_52100001. ZIP. 12
介護保険審査支払等システム 保険者（6桁）	53100001. CSV ⇒H_53100001. ZIP. 123456
介護保険審査支払等システム 福祉事務所（8桁）	11100001. CSV ⇒F_11100001. ZIP. 12345678
障害者総合支援給付審査支払等システム 都道府県（2桁）	A1A00001. CSV ⇒T_A1A00001. ZIP. 12
障害者総合支援給付審査支払等システム 市町村（6桁）	E1100001. CSV ⇒S_E1100001. ZIP. 123456
保険料特別徴収システム 市町村（5桁）	Z1200001. DTA ⇒N_Z1200001. ZIP. 12345

※「媒体暗号化ソフト（都道府県・市町村版）」で作成される暗号化ファイル名は、従来の「媒体暗号化ソフト（年金特徴版）」作成される暗号化ファイル名とは異なります。

※福祉事務所は、希望により国保連合会から暗号化ファイルが送付されます。

■ 暗号化処理終了後の作業について

■ 暗号化処理終了後の作業について

[結果]欄を確認し、指定した変換元ファイル名について「○」(正常終了)が表示されていることを確認してください。

<変換先フォルダがハードディスク内の場合>

変換先フォルダがハードディスク内の場合、国保連合会へ送付する媒体へ[エクスプローラ]等を使用して、ファイルのコピーを行い、暗号化データを格納した媒体を国保連合会へ送付してください。

<変換先フォルダがリムーバブルドライブの場合>

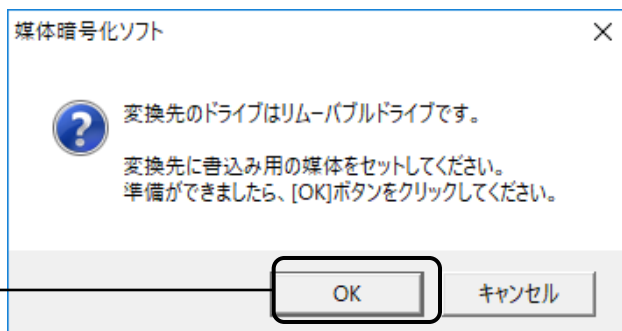
変換先フォルダの指定をリムーバブルドライブにした場合、変換処理の作業中に、以下の媒体セットの確認メッセージが表示されます。

変換先媒体をセットした後に、[OK] ボタンをクリックすることで作業用フォルダより変換先の媒体にコピーします。

また、変換元及び変換先が同じリムーバブルドライブの場合には、本メッセージ表示時に変換元媒体を取出し、変換先媒体をセットした後に、[OK] ボタンをクリックすることで作業用フォルダより変換先の媒体にコピーします。

変換先フォルダがリムーバブルドライブ(FD装置、MO装置等)の場合、媒体セットの確認メッセージが表示されます。

媒体をセットし、[OK] ボタンをクリックしてください。



■ 変換先フォルダへの 上書き保存について

<変換先フォルダへの上書き保存について>

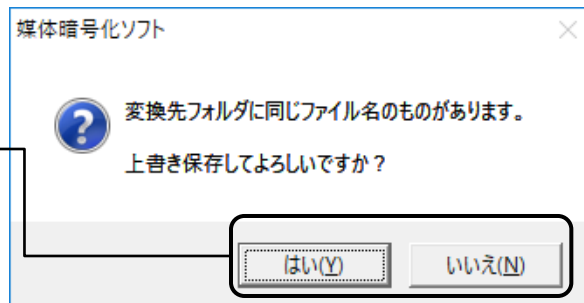
変換先フォルダに暗号化処理後のファイル名と同名ファイルが存在した場合、上書き保存を確認するメッセージが表示されます。

「はい」を指定すると既に格納されているファイルに上書きします。
「いいえ」を指定すると上書きせずに[結果]欄に「×」、[備考]欄に「上書きしない」と表示されます。

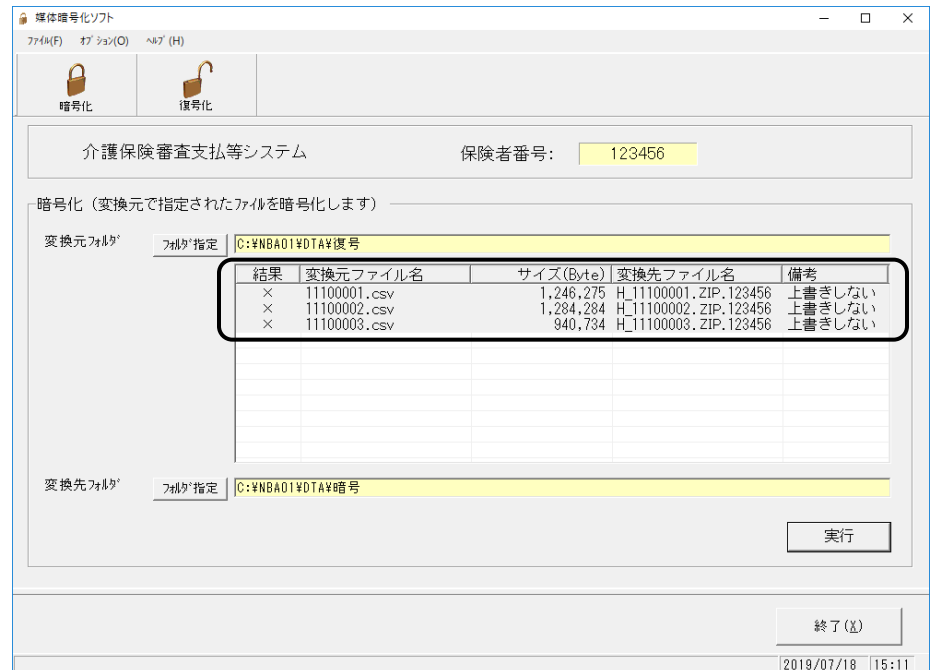
「いいえ」を指定した場合には、格納する媒体／変換先フォルダを変更する等の作業を行い、再度暗号化処理を行ってください。

変換先フォルダに既に同じファイル名のファイルが存在した場合、上書き確認のメッセージが表示されます。

上書き保存する場合、「はい」、
上書き保存しない場合、「いいえ」をクリックします。



上書き確認のメッセージで
「いいえ」を選択した場合、
[結果]欄は「×」、[備考]欄に
は「上書きしない」と表示され
変換先フォルダには格納されま
せん。



■ 変換先フォルダへのコピーエラーについて

<変換先フォルダへのコピーエラーについて>

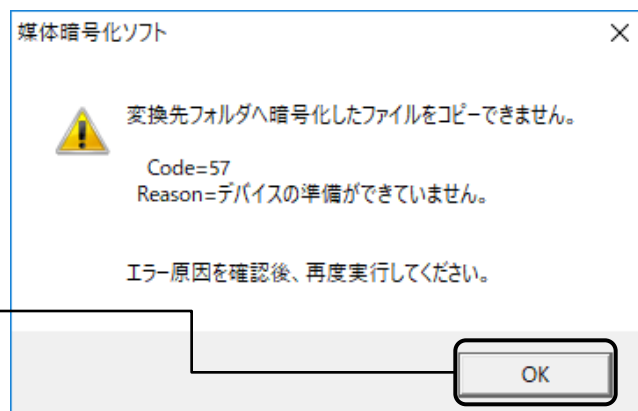
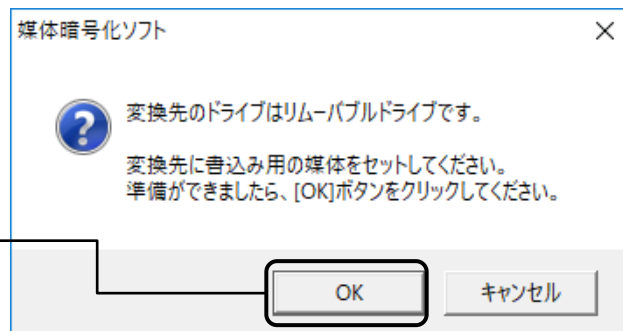
変換先フォルダの指定をリムーバブルドライブにした場合、媒体セットの確認メッセージが表示されますが、媒体をセットせずに実行した場合、[結果]欄に「×」、[備考]欄に「コピーエラー」と表示されます。

エラーとなったファイルを選択し、再度暗号化処理を行ってください。

変換先フォルダの指定をリムーバブルドライブにした場合、媒体セットの確認メッセージが表示されます。

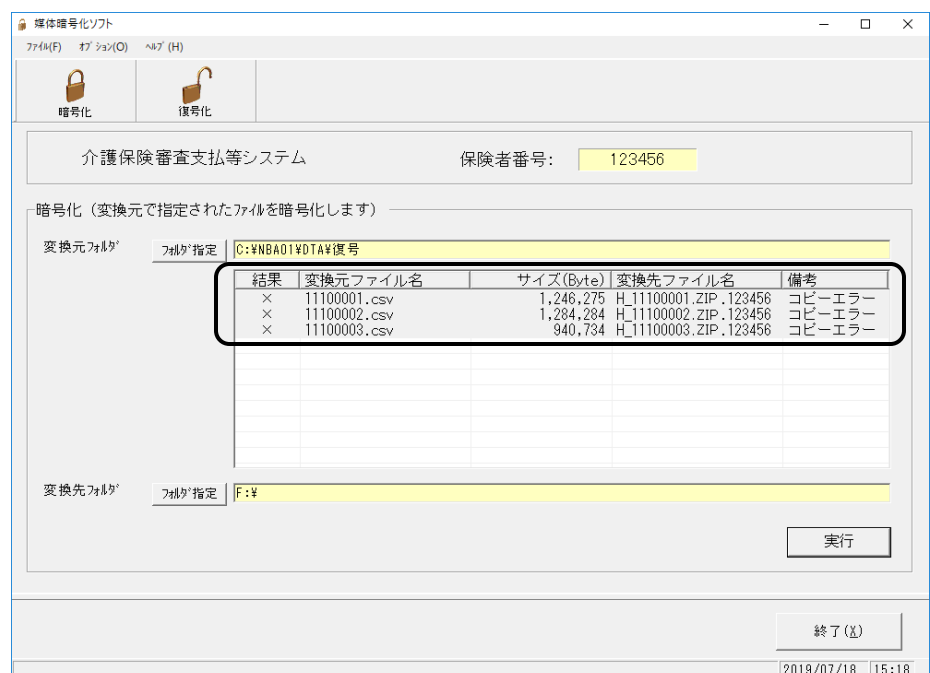
媒体をセットせずに、[OK] ボタンをクリックした場合には、以下の“デバイスの準備ができていません。”のメッセージが表示されます。

[OK] ボタンをクリックします。



上述のエラーメッセージが表示された場合、[結果]欄は「×」、[備考]欄には「コピーエラー」と表示され変換先フォルダには格納されません。

書き込み用媒体のセットを行った後、再度 [実行] ボタンをクリックし暗号化処理を実行してください。



■ 禁止文字使用について

使用禁止文字を使用したファイルは国保連合会でエラーとなりますので、使用しないでください。

使用禁止文字を使用したファイルを暗号化する場合、処理継続確認のメッセージが表示されます。

処理を中断する場合、[はい]、処理を中断しない場合、[いいえ] をクリックします。

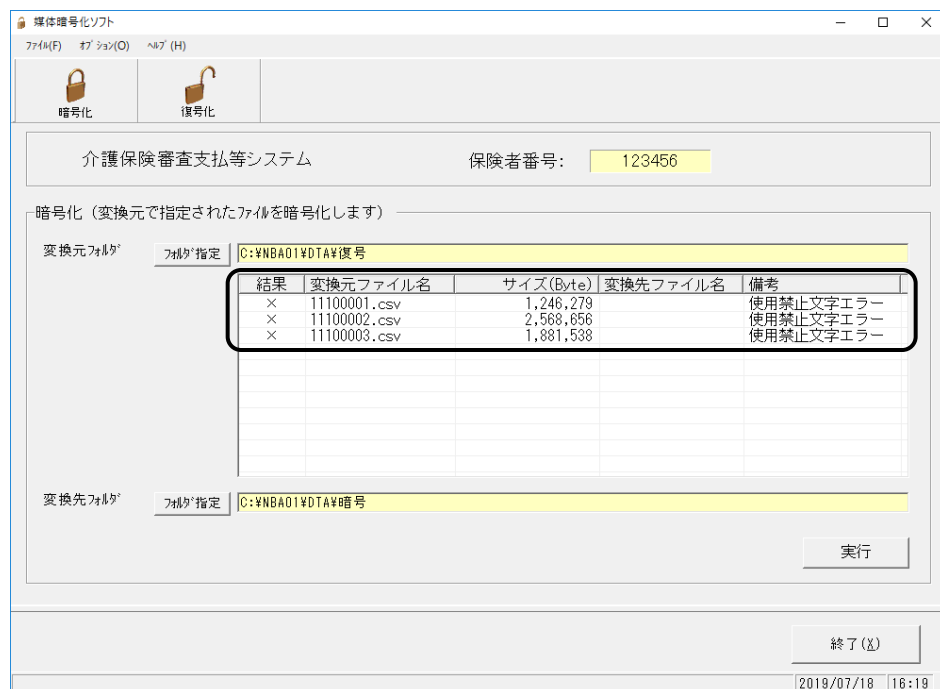
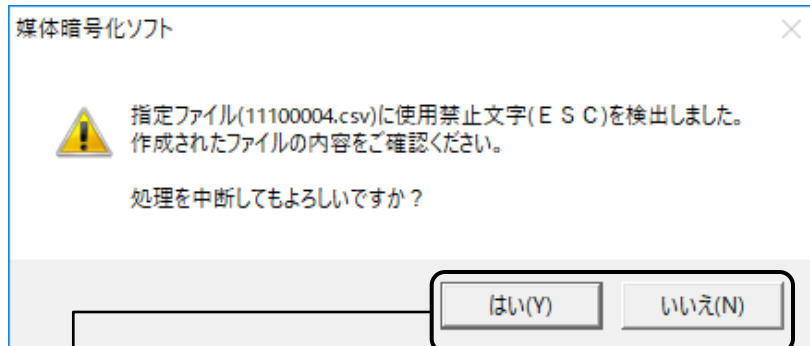
使用禁止文字は、「ESC」、「BOM」、「クエスチョンマーク」があげられます。
なお、使用禁止文字の詳細については「付録A. エラーメッセージ」を参照ください。

処理継続確認のメッセージで[はい] を選択した場合、[結果] 欄は「×」、[備考] 欄には「使用禁止文字エラー」と表示され変換先フォルダには格納されません。

<禁止文字使用について>

使用禁止文字を使用したファイルを暗号化する場合、処理の継続を確認するメッセージが表示されます。

[はい] を指定すると処理は中断され、[結果] 欄に「×」、[備考] 欄に「使用禁止文字エラー」と表示されます。
[いいえ] を指定すると[結果] 欄に「○」と表示され暗号化されます。



■ 回付情報の格納確認チェックについて

国保連合会の特別徴収 1 / 2 判定チェックの実施に伴い、媒体で国保・後期高齢の回付情報を送付する場合、介護の回付情報も合わせて送付する必要があります。

介護の回付情報を送付せず、国保・後期高齢の回付情報のみ送付した場合、国保連合会での 1 / 2 判定チェックでエラーとなる場合があります。

介護の回付情報が存在しない場合、処理継続確認のメッセージが表示されます。

ただし、国保・後期高齢の回付情報が0件データ(*1)である場合は、メッセージを表示せず処理を行います。

処理を中断する場合、[いいえ]、処理を実施する場合、[はい]をクリックします。

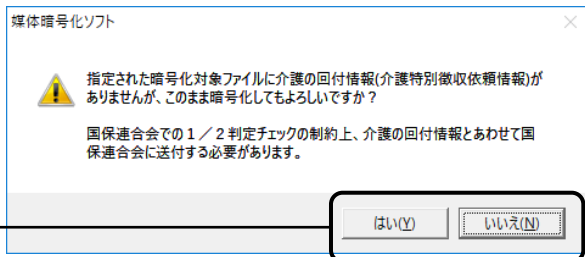
まだ介護の回付情報を暗号化していない場合、[いいえ(N)]をクリックし、介護の回付情報も暗号化対象として指定してください。

既に介護の回付情報を暗号化している場合や、後期高齢の回付情報のみを暗号化する場合(*2)等、このまま暗号化してもよい場合、[はい(Y)]をクリックしてください。

<回付情報の格納確認チェックについて>

介護と国保／後期高齢の回付情報が同一媒体（フォルダ）に格納されることの確認として、国保／後期高齢の回付情報の暗号化の際、暗号化対象として指定したファイルに介護の回付情報が存在しない場合、暗号化処理の継続を確認するメッセージが表示されます。

[いいえ] を指定すると暗号化処理は中断され、[はい] を指定すると暗号化処理を実施します。



<回付情報のチェック内容>

		介護年次データ (Z12) の状態		介護月次データ (Z1A) の状態	
		暗号化対象指定無し	暗号化対象指定有り	暗号化対象指定無し	暗号化対象指定有り
年次データ	国保特別徴収 依頼情報 (Z22)	×	○	/	
	後期高齢特別徴収 依頼情報 (Z32)	×	○		
月次データ	国各種特別異動 徴収情報 (Z2A)	/		×	○
	0件データ			○	○
	後各種特別異動 高徴収情報 (Z3A)	/		×	○
	0件データ			○	○

○：警告メッセージは表示されません。

×：警告メッセージが表示されます。

*1：0件データとは、月次データ（特別徴収各種異動情報）の管理レコードと、ファイル管理レコードのみのデータを指します。

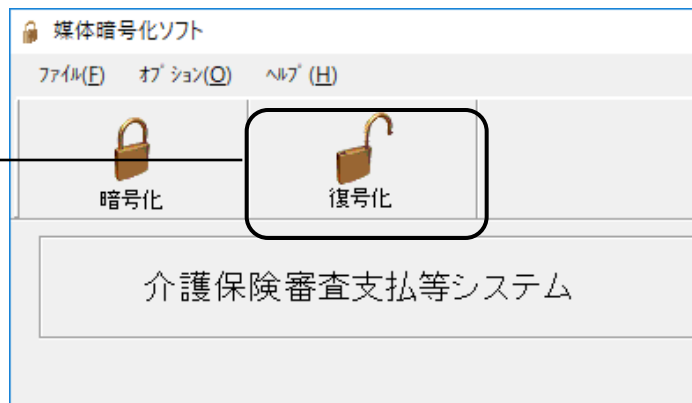
*2：後期高齢の月次データ（特別徴収追加依頼通知）については、単独捕捉があります。

※ 月次データと年次データをまとめて暗号化対象として指定した場合、警告メッセージについては、月次分のメッセージと年次分のメッセージがそれぞれ表示されます。

3. 4. 復号化処理

国保連合会より送付された暗号化されたファイルを元の形式に戻す場合に、復号化処理を行います。

- ①[復号化]をクリックします。
[ファイル(F)]→[ファイルの復号化]でも同様の操作ができます。

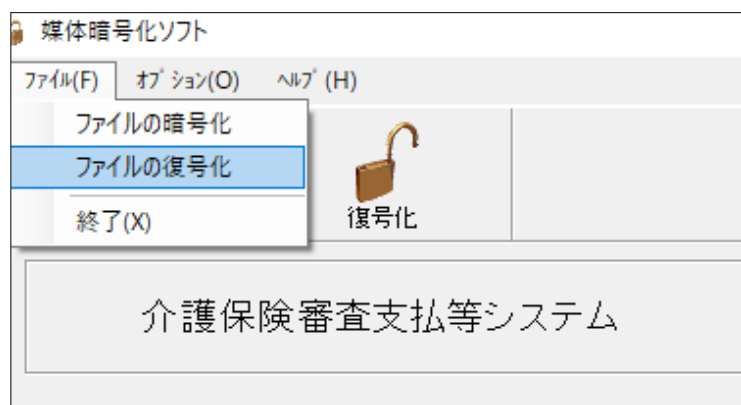


変換元フォルダには環境設定情報で設定した暗号フォルダが表示されます。

変換元フォルダに復号化対象のファイルが存在した場合には、[変換元ファイル名]にファイル名が表示されます。

ファイルの拡張子がログオンしたユーザ（都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号）と異なるファイルは表示されません。

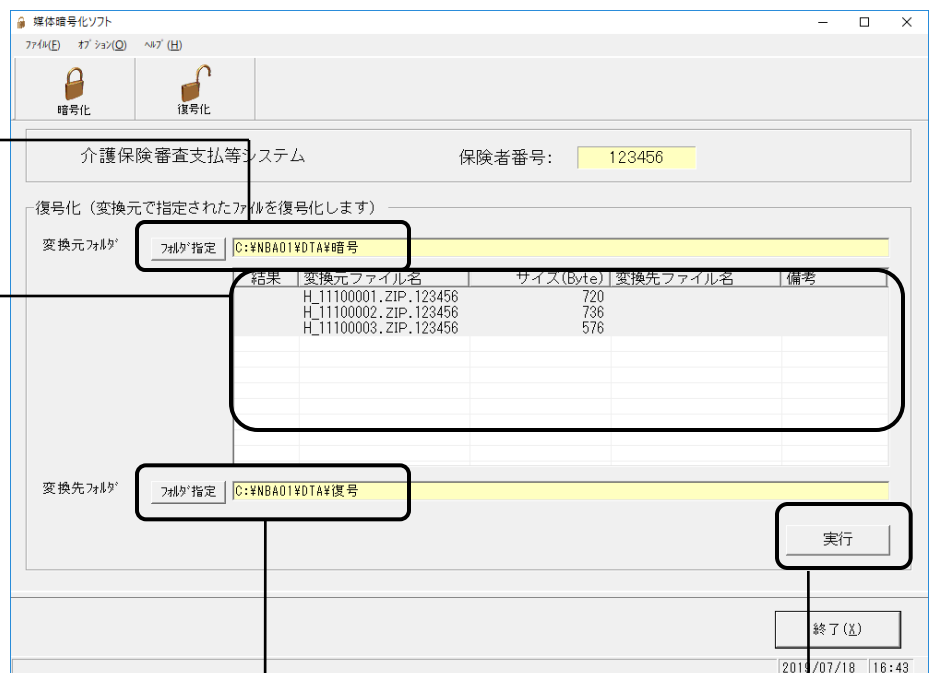
復号化対象のファイル名は「3. 3. 暗号化処理」の＜暗号化ファイル名の例＞に挙げた形式です。



- ②変換元フォルダを変更する場合は、[フォルダ指定]ボタンをクリックします。

- ③変換元ファイル名を選択します。
(初期表示時は、すべてのファイルが選択されています。)

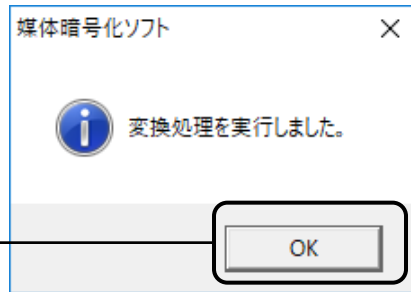
複数のファイルを同時に選択する時は、「Shift」キー、あるいは「Ctrl」キーを使います。連続したファイルを選択する時は「Shift」キーを、連続的でないファイルを選択する時は「Ctrl」キーを押したまま、変換元ファイル名をクリックして指定します。



- ④変換先フォルダを変更する場合は、[フォルダ指定]ボタンをクリックします。

- ⑤[実行]ボタンをクリックします。
(復号化処理が実行されます。)

⑤変換（復号化）処理の実行が終了した場合に、表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。



[結果]、[変換先ファイル名]及び[備考]の各欄に処理結果が表示されます。

[結果]欄について

実行結果が表示されます。

「○」は正常終了、「×」はエラー発生を示します。

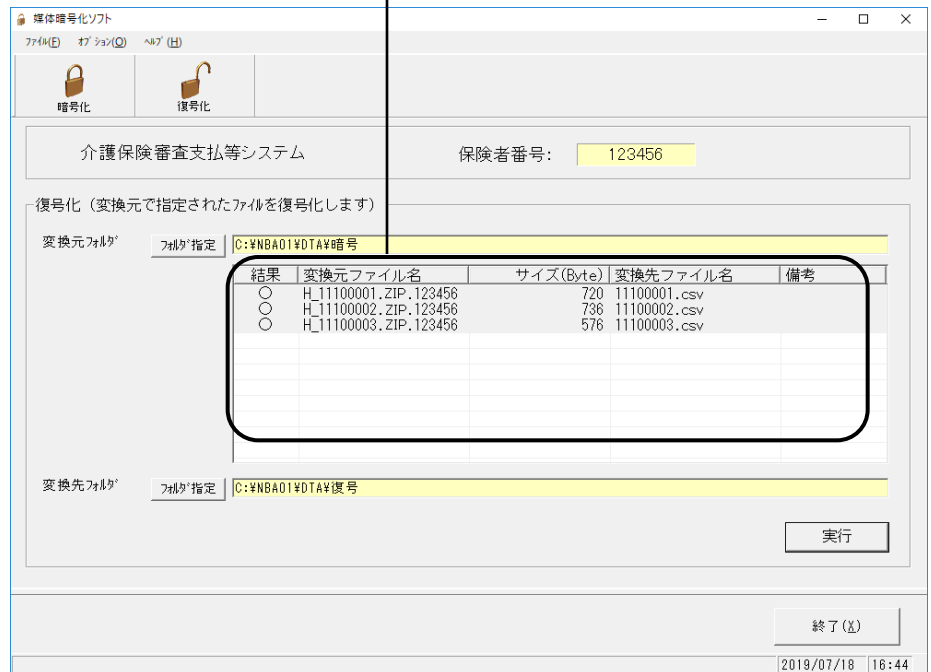
[変換先ファイル名]欄について

復号化・解凍し変換先フォルダに格納するファイル名を示しています。

[備考]欄について

実行結果のエラー情報を表示します。「復号化エラー」、「コピーエラー」、「上書きしない」が表示されます。

(各エラー内容の詳細は「付録A. エラーメッセージ」を参照)



■ 復号化処理終了後の作業について

■ 復号化処理終了後の作業について

【結果】欄を確認し、指定した変換元ファイル名について「○」（正常終了）が表示されていることを確認してください

<変換先フォルダがハードディスク内の場合>

変換先フォルダがハードディスク内の場合、都道府県／保険者／福祉事務所／市町村システムで使用する媒体へ[エクスプローラ]等を使用して、ファイルのコピーを行い、復号化したデータを都道府県／保険者／福祉事務所／市町村システムでご利用ください。

<変換先フォルダがリムーバブルドライブの場合>

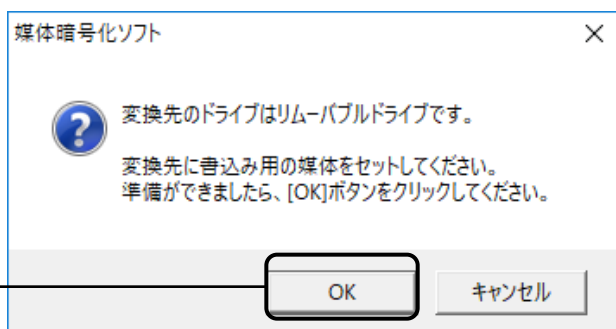
変換先フォルダの指定をリムーバブルドライブにした場合、変換処理の作業中に、以下の媒体セットの確認メッセージが表示されます。

変換先媒体をセットした後に、[OK] ボタンをクリックすることで作業用フォルダより変換先の媒体にコピーします。

また、変換元・変換先が同じリムーバブルドライブの場合には、本メッセージ表示時に変換元媒体を取出し、変換先媒体をセットした後に、[OK] ボタンをクリックすることで作業用フォルダより変換先の媒体にコピーします。

変換先フォルダがリムーバブルドライブ(FD装置、MO装置等)の場合、媒体セットの確認メッセージが表示されます。

媒体をセットし、[OK] ボタンをクリックしてください。



■ 復号化エラーについて

<復号化エラーについて>

暗号鍵パスワードが違っていた場合、変換処理の作業中に以下のようなエラーメッセージが表示されます。

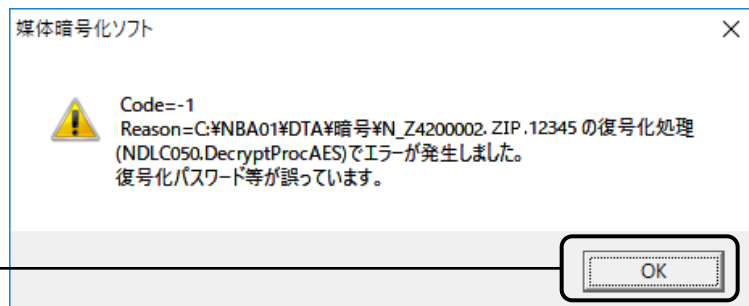
メイン画面のメニューバーより[オプション(O)]→[環境設定情報]を選択し、ユーザ情報の修正画面で、該当都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号を選択し、正しい暗号鍵パスワードに変更してください。

その後、エラーとなったファイルを選択し、再度復号化処理を行ってください。

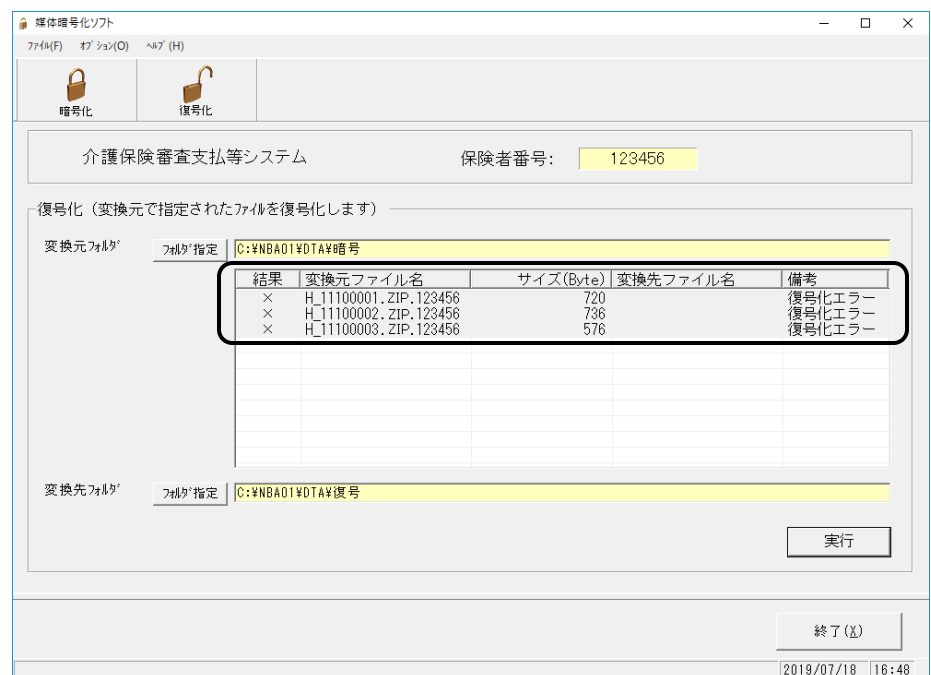
媒体暗号化ソフトを継続的に使用していて、それまで正常に行なわれていた復号化で突然パスワード誤りによるエラーが発生した場合、国保連合会で暗号鍵が更新されている可能性があります。

新しい暗号鍵は郵送でお知らせいたしますが、お知らせが届いていない場合、お手数ですが国保連合会へお問い合わせください。

復号化処理において暗号鍵パスワードが違っていた場合に表示されます。確認後、[OK]ボタンをクリックします。



復号化エラーが発生した場合、[結果]欄は「×」、[備考]欄には「復号化エラー」と表示され変換先フォルダには格納されません。



■ 変換先フォルダへのコピーエラーについて

<変換先フォルダへのコピーエラーについて>

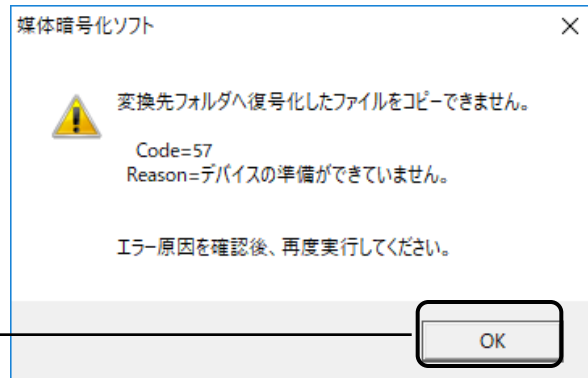
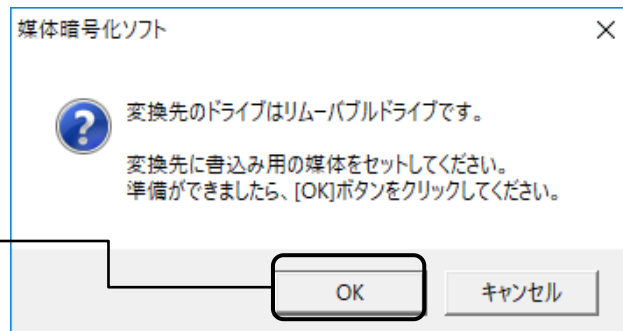
変換先フォルダの指定をリムーバブルドライブにした場合、媒体セットの確認メッセージが表示されますが、媒体をセットせずに実行した場合、[結果]欄に「×」、[備考]欄に「コピーエラー」と表示されます。

エラーとなったファイルを選択し、再度復号化処理を行ってください。

変換先フォルダの指定をリムーバブルドライブにした場合、媒体セットの確認メッセージが表示されます。

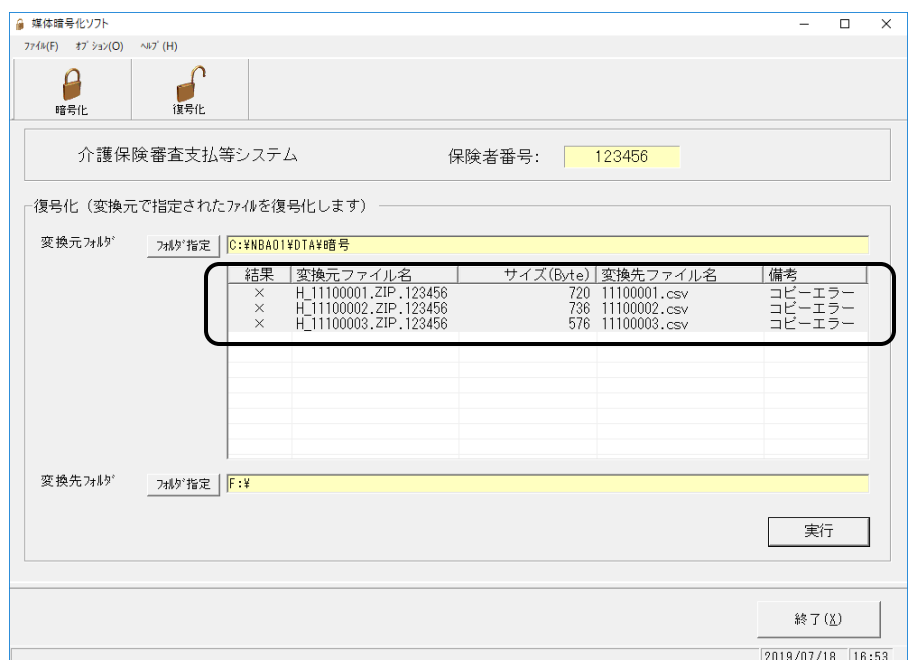
媒体をセットせずに、[OK] ボタンをクリックした場合には、以下の“デバイスの準備ができていません”のメッセージが表示されます。

[OK] ボタンをクリックします。



上述のエラーメッセージが表示された場合、[結果]欄は「×」、[備考]欄には「コピーエラー」と表示され変換先フォルダには格納されません。

書き込み用媒体のセットを行った後、再度 [実行] ボタンをクリックし復号化処理を実行してください。



■ 変換先フォルダへの 上書き保存について

<変換先フォルダへの上書き保存について>

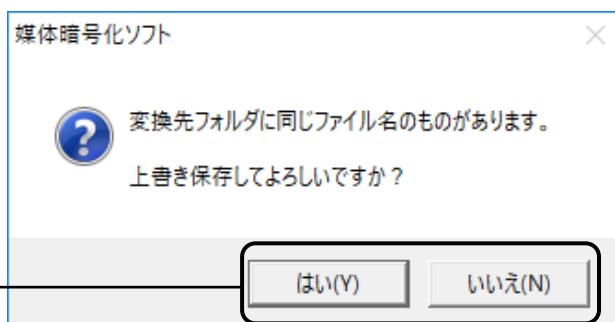
変換先フォルダに復号化処理後のファイル名と同名ファイルが存在した場合、上書き保存を確認するメッセージが表示されます。

「はい」を指定すると既に格納されているファイルに上書きします。
「いいえ」を指定すると上書きせずに[結果]欄に「×」、[備考]欄に「上書きしない」と表示されます。

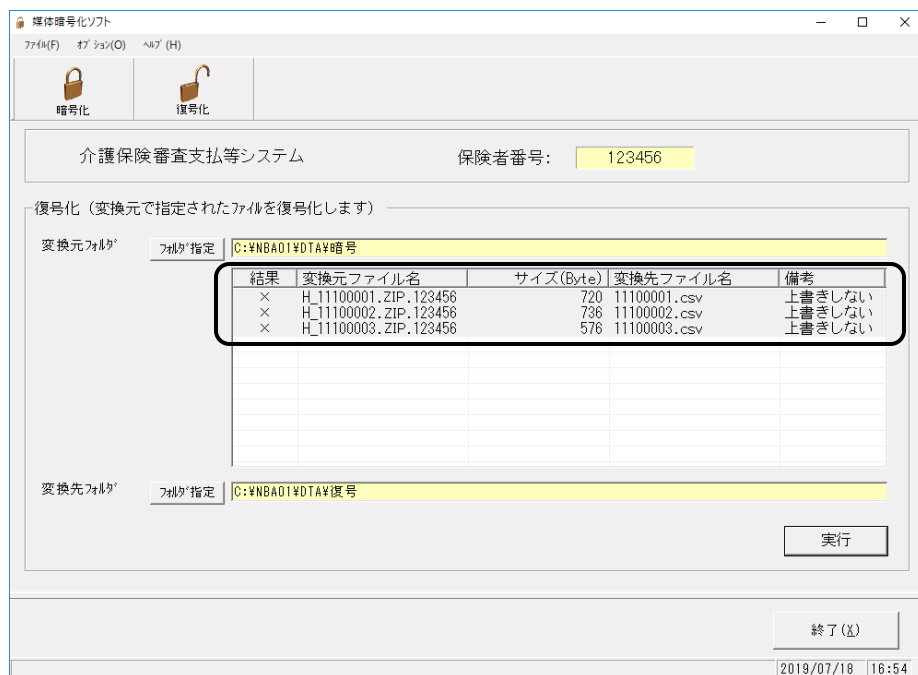
「いいえ」を指定した場合には、格納する媒体／変換先フォルダを変更する等の作業を行い、再度復号化処理を行ってください。

変換先フォルダに既に同じファイル名のファイルが存在した場合、上書き確認のメッセージが表示されます。

上書き保存する場合、「はい」、
上書き保存しない場合、「いいえ」をクリックします。



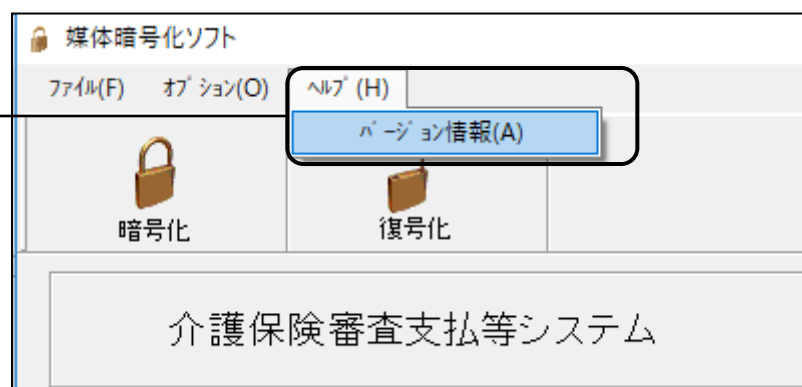
上書き確認のメッセージで「いいえ」を選択した場合、[結果]欄は「×」、[備考]欄には「上書きしない」と表示され変換先フォルダには格納されません。



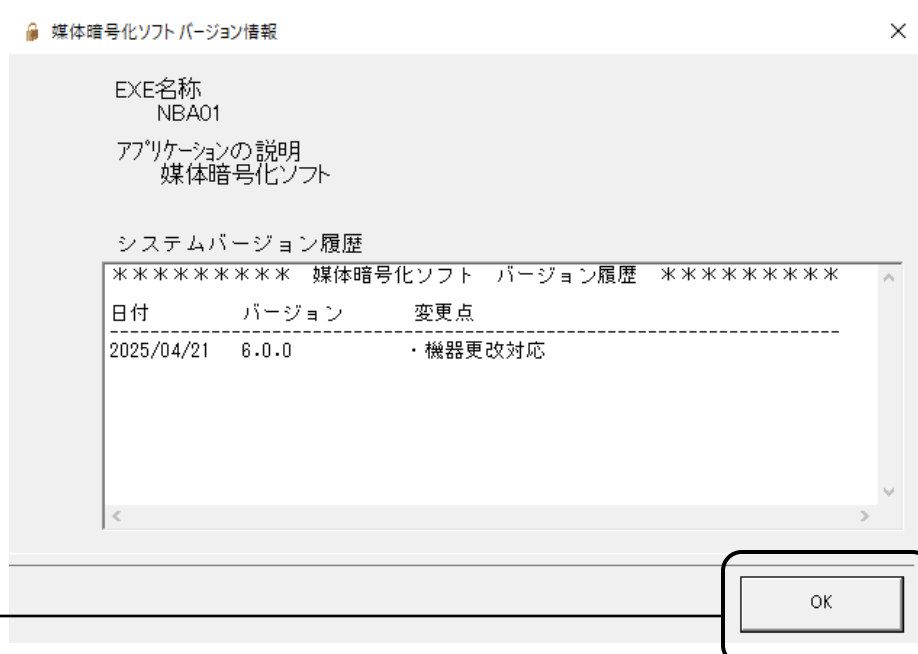
3. 5. バージョン情報

媒体暗号化ソフトの現在のバージョンを確認する場合に行います。

- ① [ヘルプ (H)]→[バージョン情報 (A)] を選択します。



- ② [OK] ボタンをクリック
でメイン画面に戻ります。

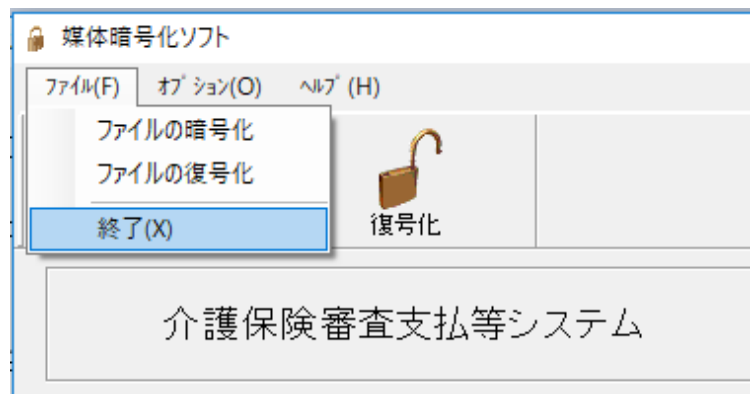
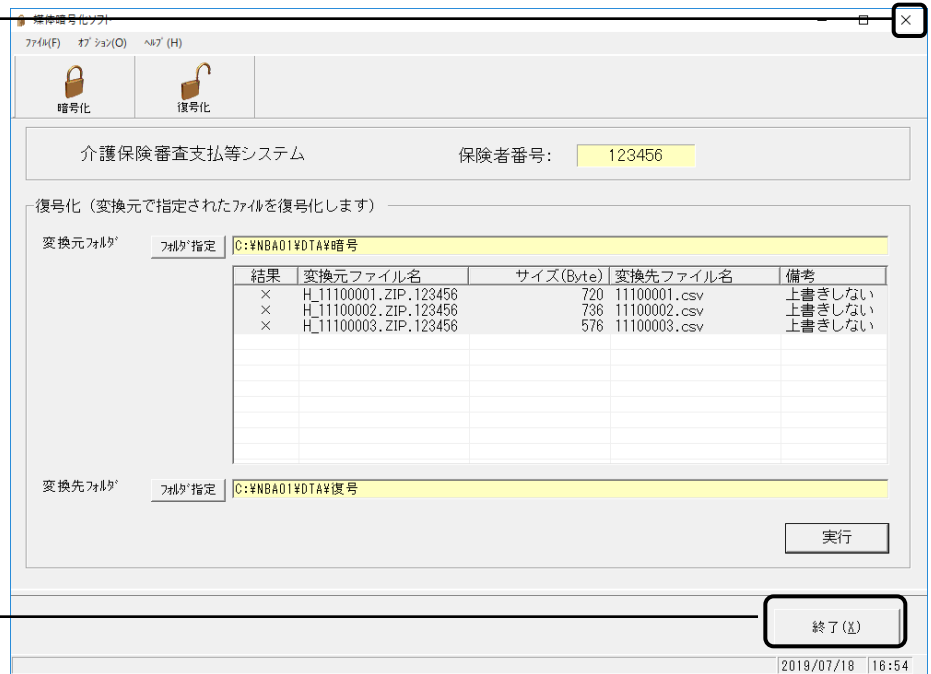


「媒体暗号化ソフト（年金特徴版）」から「媒体暗号化ソフト（都道府県・市町村版）」へ移行された場合、システムバージョン履歴に導入ソフトの履歴が表示されます。

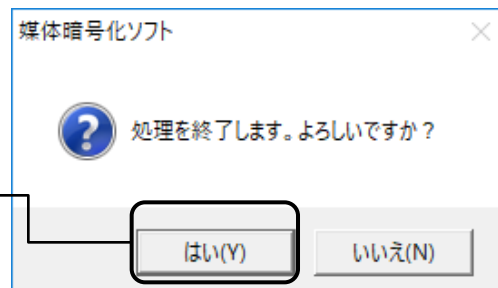
上述の画面は、「媒体暗号化ソフト（都道府県・市町村版）」を新規導入された場合の表示です。

3. 6. 終了操作

①右下の[終了(X)]をクリックします。また、メイン画面右上の“×”印や、メニューバーの[ファイル(F)]→[終了(X)]でも同様の操作ができます。



②終了確認のメッセージが表示されます。
[はい(Y)]をクリックします。



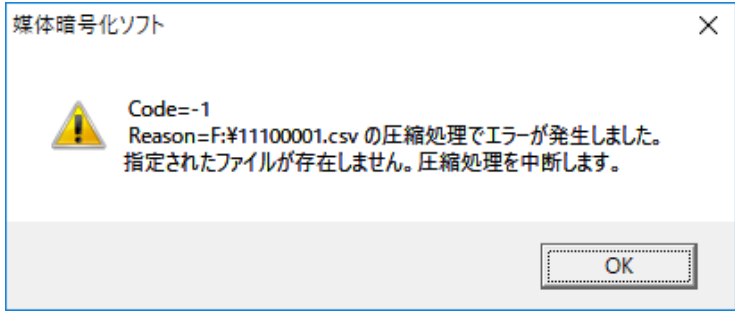
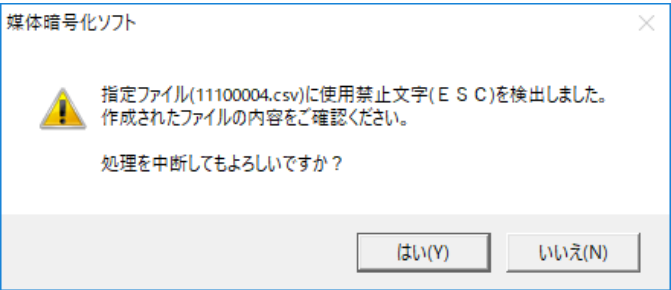
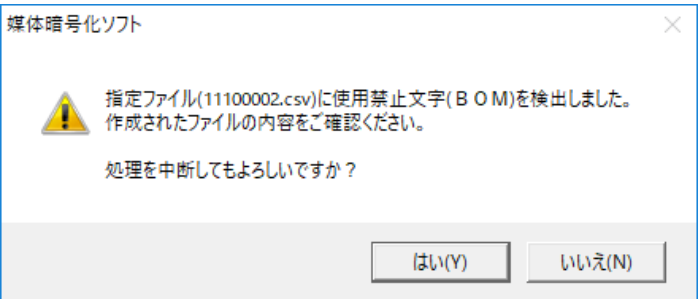
付録A. エラーメッセージ

A. 1. 暗号化処理でのエラーメッセージ

暗号化処理で表示されるメッセージボックス、エラー原因及び対処方法を示します。

No1	媒体暗号化ソフト  変換先のドライブはリムーバブルドライブです。 変換先に書き込み用の媒体をセットしてください。 準備ができましたら、[OK]ボタンをクリックしてください。 OK キャンセル	
	[エラー原因] 暗号化処理で変換先フォルダにリムーバブルドライブ等を指定し、媒体をセットしていない場合に表示されます。	[対処方法] 媒体セットの確認メッセージが表示された時に、変換先に媒体をセットしてください。 (「3.3. 暗号化処理」の「変換先フォルダへのコピーエラーについて」を参照)
No2	媒体暗号化ソフト  変換先フォルダへ復号化したファイルをコピーできません。 Code=76 Reason=パス 'F:\11100001.csv' の一部が見つかりませんでした。 エラー原因を確認後、再度実行してください。 OK	
	[エラー原因] 暗号化処理で変換先フォルダに指定したフォルダまたはドライブが存在しない場合に表示されます。	[対処方法] 変換先フォルダで指定したフォルダまたはドライブが存在することを[エクスプローラ]等で確認し、再度暗号化処理を実行してください。
No3	媒体暗号化ソフト  変換先フォルダへ暗号化したファイルをコピーできません。 Code=57 Reason=デバイスの準備ができていません。 エラー原因を確認後、再度実行してください。 OK	
	[エラー原因] 暗号化処理で変換先の媒体に空き容量がない場合に表示されます。	[対処方法] 空き容量がある媒体に変更し、再度、暗号化処理を実行してください。

No4	媒体暗号化ソフト  変換先フォルダへ暗号化したファイルをコピーできません。 Code=5 Reason=パス 'C:\NBA01\DTA\暗号\H_11100001.LZH.123456' へのアクセスが拒否されました。 エラー原因を確認後、再度実行してください。 OK
	[エラー原因] - 変換先に同じファイル名があり、そのファイルのプロパティが[読み取り専用]や[隠しファイル]の場合に表示されます。 [対処方法] - 変換先の同名ファイルのプロパティが[読み取り専用]や[隠しファイル]が設定されていた場合は、解除してください。
No5	媒体暗号化ソフト  変換先フォルダへ暗号化したファイルをコピーできません。 Code=57 Reason=このメディアは書き込み禁止になっています。 エラー原因を確認後、再度実行してください。 OK
	[エラー原因] - 変換先の媒体に書込保護(フロッピーがON)されている場合に表示されます。 [対処方法] - 変換先の媒体の書込保護を解除してください。
No6	媒体暗号化ソフト  変換元に媒体が格納されていません。 格納後、変換元フォルダの指定を行ってください。 OK
	[エラー原因] - 環境設定情報画面で復号フォルダにリムーバブルドライブを指定し、媒体を格納せずにメニューバーの[暗号化]ボタンをクリックした時に表示されます。 [対処方法] - 環境設定情報画面で指定したドライブに媒体を格納し、メニューバーの[暗号化]ボタンをクリックしてください。 なお、環境設定情報画面に指定したフォルダと違うフォルダを指定したい場合は、[変換元フォルダ]ボタンをクリックし指定してください。

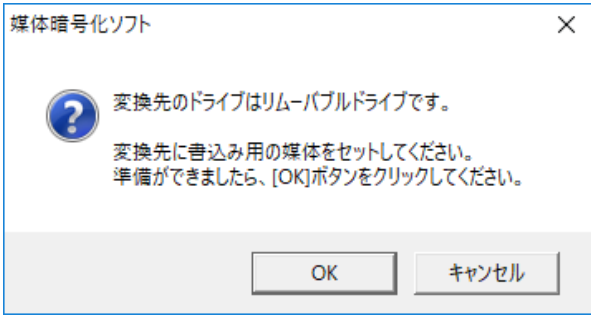
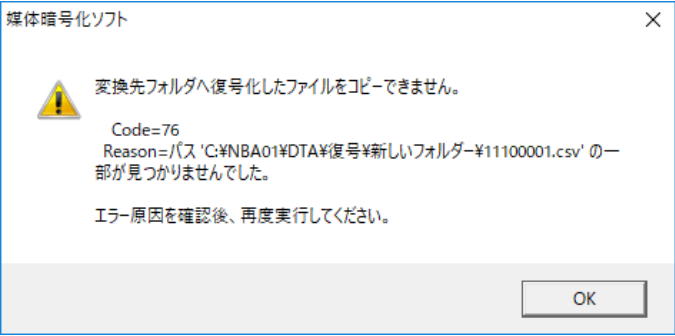
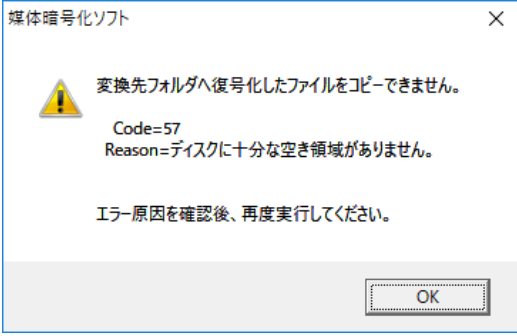
No7			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="554 502 953 819"> [エラー原因] ・変換元フォルダにリムーバブルドライブ等を指定し、[実行]ボタンのクリックする前に媒体を取出し、その後「実行」した場合に表示されます。 </td><td data-bbox="953 502 1389 819"> [対処方法] ・変換元フォルダの媒体は暗号化処理が終了するまで取り出さないでください。また、変換元と変換先に同じリムーバブルドライブを指定していた場合には、媒体セットの確認メッセージが表示されるまで変換元の媒体は取り出さないでください。 </td></tr> </table>	[エラー原因] ・変換元フォルダにリムーバブルドライブ等を指定し、[実行]ボタンのクリックする前に媒体を取出し、その後「実行」した場合に表示されます。	[対処方法] ・変換元フォルダの媒体は暗号化処理が終了するまで取り出さないでください。また、変換元と変換先に同じリムーバブルドライブを指定していた場合には、媒体セットの確認メッセージが表示されるまで変換元の媒体は取り出さないでください。
[エラー原因] ・変換元フォルダにリムーバブルドライブ等を指定し、[実行]ボタンのクリックする前に媒体を取出し、その後「実行」した場合に表示されます。	[対処方法] ・変換元フォルダの媒体は暗号化処理が終了するまで取り出さないでください。また、変換元と変換先に同じリムーバブルドライブを指定していた場合には、媒体セットの確認メッセージが表示されるまで変換元の媒体は取り出さないでください。		
No8	 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="554 1209 953 1429"> [エラー原因] ・介護保険、障害者総合支援の場合、使用したファイルにJIS形式のコード文字が含まれている場合表示されます。 </td><td data-bbox="953 1209 1389 1429"> [対処方法] ・「はい」ボタンをクリックしてください。 ・暗号化するファイルのコード文字をシフトJIS形式にして、再度暗号化を行ってください。 </td></tr> </table>	[エラー原因] ・介護保険、障害者総合支援の場合、使用したファイルにJIS形式のコード文字が含まれている場合表示されます。	[対処方法] ・「はい」ボタンをクリックしてください。 ・暗号化するファイルのコード文字をシフトJIS形式にして、再度暗号化を行ってください。
[エラー原因] ・介護保険、障害者総合支援の場合、使用したファイルにJIS形式のコード文字が含まれている場合表示されます。	[対処方法] ・「はい」ボタンをクリックしてください。 ・暗号化するファイルのコード文字をシフトJIS形式にして、再度暗号化を行ってください。		
No9	 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="554 1828 953 2076"> [エラー原因] ・使用したファイルにUnicode形式のコード文字が含まれている場合表示されます。 </td><td data-bbox="953 1828 1389 2076"> [対処方法] ・「はい」ボタンをクリックしてください。 ・介護保険、障害者総合支援の場合、コード文字をシフトJIS形式に、年金特徴の場合、JIS形式にして暗号化を行ってください。 </td></tr> </table>	[エラー原因] ・使用したファイルにUnicode形式のコード文字が含まれている場合表示されます。	[対処方法] ・「はい」ボタンをクリックしてください。 ・介護保険、障害者総合支援の場合、コード文字をシフトJIS形式に、年金特徴の場合、JIS形式にして暗号化を行ってください。
[エラー原因] ・使用したファイルにUnicode形式のコード文字が含まれている場合表示されます。	[対処方法] ・「はい」ボタンをクリックしてください。 ・介護保険、障害者総合支援の場合、コード文字をシフトJIS形式に、年金特徴の場合、JIS形式にして暗号化を行ってください。		

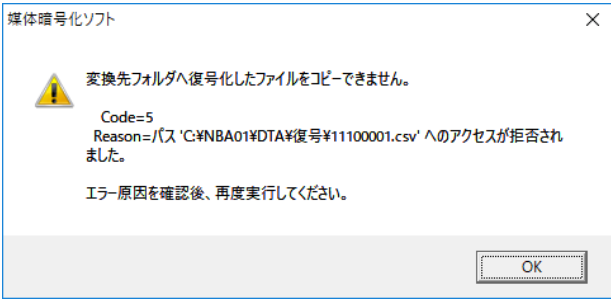
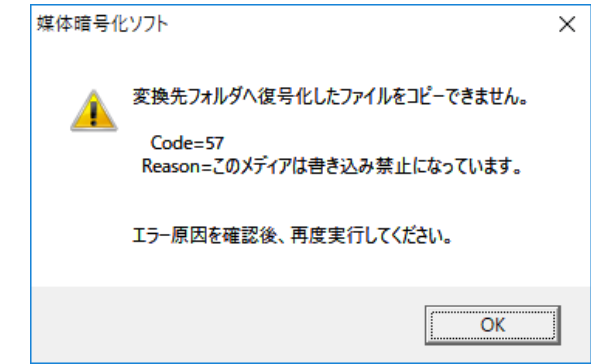
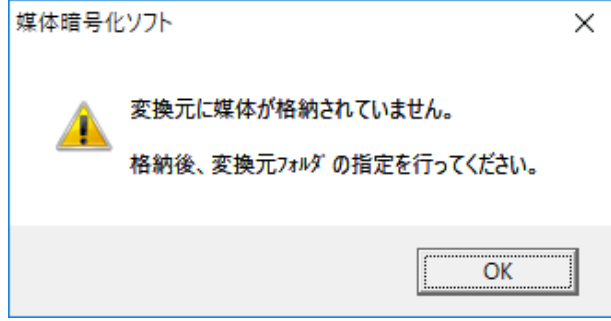
No10	媒体暗号化ソフト  指定ファイル(11100001.csv)に使用禁止文字(クエスチョンマーク)を検出しました。 作成されたファイルの内容をご確認ください。 処理を中断してもよろしいですか？ はい(Y) いいえ(N)
	[エラー原因] ・介護保険、障害者総合支援で 使用したファイルにJIS2004 で拡張された漢字が含まれて いる場合、認識されず「？」 になる為、表示されます。 [対処方法] ・「はい」ボタンをクリックして ください。 ・暗号化するファイルのコード文 字をシフトJIS形式にして、再 度暗号化を行ってください。
No11	媒体暗号化ソフト  0バイトのデータは暗号化できません。 正しいファイルを選択してください。 OK
	[エラー原因] ・暗号化で指定したファイル が0バイトのときに表示され ます。 [対処方法] ・1バイト以上あるファイルを使用 してください。

No12	媒体暗号化ソフト  指定された暗号化対象ファイルに介護の回付情報(介護特別徴収依頼情報)がありませんが、このまま暗号化してもよろしいですか？ 国保連合会での 1 / 2 判定チェックの制約上、介護の回付情報とあわせて国保連合会に送付する必要があります。 はい(Y) いいえ(N)
	[エラー原因] ・ 国保及び後期高齢の特別徴収依頼情報の暗号化処理時に、介護の特別徴収依頼情報を指定していなかった場合に表示されます。 [対処方法] ・ すでに介護の回付情報（介護特別徴収依頼情報）を暗号化済みの場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。 介護の回付情報（介護特別徴収依頼情報）を暗号化していない場合は、「いいえ」ボタンをクリックし介護の回付情報（介護特別徴収依頼情報）も暗号化対象に指定してください。 （「3.3 暗号化処理」の「回付情報に対するチェックについて」を参照）
No13	媒体暗号化ソフト  指定された暗号化対象ファイルに介護の回付情報(介護特別徴収依頼情報)がありませんが、このまま暗号化してもよろしいですか？ 国保連合会での 1 / 2 判定チェックの制約上、介護の回付情報とあわせて国保連合会に送付する必要があります。 はい(Y) いいえ(N)
	[エラー原因] ・ 国保及び後期高齢の特別徴収各種異動情報の暗号化処理時に、介護の特別徴収各種異動情報を指定していなかった場合に表示されます。 [対処方法] ・ すでに介護の回付情報（介護特別徴収各種異動情報）を暗号化済みの場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。 介護の回付情報（介護特別徴収各種異動情報）を暗号化していない場合は、「いいえ」ボタンをクリックし介護の回付情報（介護特別徴収各種異動情報）も暗号化対象に指定してください。 （「3.3 暗号化処理」の「回付情報に対するチェックについて」を参照）

A. 2. 復号化処理でのエラーメッセージ

復号化処理で表示されるメッセージボックス、エラー原因及び対処方法を示します。

No1	
	[エラー原因] ・復号化処理で変換先フォルダにリムーバブルドライブ等を指定し、媒体をセットしていない場合に表示されます。 [対処方法] ・媒体セットの確認メッセージが表示された時に、変換先に媒体をセットしてください。 (「3.4. 復号化処理」の「変換先フォルダへのコピーエラーについて」を参照)
No2	
	[エラー原因] ・復号化処理で変換先フォルダに指定したフォルダまたはドライブが存在しない場合に表示されます。 [対処方法] ・変換先フォルダで指定したフォルダまたはドライブが存在することを[エクスプローラ]等で確認し、再度復号化処理を実行してください。
No3	
	[エラー原因] ・復号化処理で変換先の媒体に空き容量がない場合に表示されます。 [対処方法] ・空き容量がある媒体に変更し、再度、復号化処理を実行してください。

No4			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="548 543 951 741"> [エラー原因] ・ 変換先に同じファイル名があり、そのファイルのプロパティが[読み取り専用]や[隠しファイル]の場合に表示されます。 </td><td data-bbox="951 543 1390 741"> [対処方法] ・ 変換先の同名ファイルのプロパティが[読み取り専用]や[隠しファイル]が設定されていた場合は、解除してください。 </td></tr> </table>	[エラー原因] ・ 変換先に同じファイル名があり、そのファイルのプロパティが[読み取り専用]や[隠しファイル]の場合に表示されます。	[対処方法] ・ 変換先の同名ファイルのプロパティが[読み取り専用]や[隠しファイル]が設定されていた場合は、解除してください。
[エラー原因] ・ 変換先に同じファイル名があり、そのファイルのプロパティが[読み取り専用]や[隠しファイル]の場合に表示されます。	[対処方法] ・ 変換先の同名ファイルのプロパティが[読み取り専用]や[隠しファイル]が設定されていた場合は、解除してください。		
No5			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="548 1328 951 1690"> [エラー原因] ・ 変換先の媒体に書込保護(フォーマットがON)されている場合に表示されます。 </td><td data-bbox="951 1328 1390 1690"> [対処方法] ・ 変換先の媒体の書込保護を解除してください。 </td></tr> </table>	[エラー原因] ・ 変換先の媒体に書込保護(フォーマットがON)されている場合に表示されます。	[対処方法] ・ 変換先の媒体の書込保護を解除してください。
[エラー原因] ・ 変換先の媒体に書込保護(フォーマットがON)されている場合に表示されます。	[対処方法] ・ 変換先の媒体の書込保護を解除してください。		
No6			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="548 1716 951 2035"> [エラー原因] ・ 環境設定情報画面で暗号フォルダにリムーバブルドライブを指定し、媒体を格納せずにメニューバーの[復号化]ボタンをクリックした時に表示されます。 </td><td data-bbox="951 1716 1390 2035"> [対処方法] ・ 環境設定情報画面で指定したドライブに媒体を格納し、メニューバーの[復号化]ボタンをクリックしてください。なお、環境設定情報画面に指定したフォルダと違うフォルダを指定したい場合は、[変換元フォルダ]ボタンをクリックし指定してください。 </td></tr> </table>	[エラー原因] ・ 環境設定情報画面で暗号フォルダにリムーバブルドライブを指定し、媒体を格納せずにメニューバーの[復号化]ボタンをクリックした時に表示されます。	[対処方法] ・ 環境設定情報画面で指定したドライブに媒体を格納し、メニューバーの[復号化]ボタンをクリックしてください。なお、環境設定情報画面に指定したフォルダと違うフォルダを指定したい場合は、[変換元フォルダ]ボタンをクリックし指定してください。
[エラー原因] ・ 環境設定情報画面で暗号フォルダにリムーバブルドライブを指定し、媒体を格納せずにメニューバーの[復号化]ボタンをクリックした時に表示されます。	[対処方法] ・ 環境設定情報画面で指定したドライブに媒体を格納し、メニューバーの[復号化]ボタンをクリックしてください。なお、環境設定情報画面に指定したフォルダと違うフォルダを指定したい場合は、[変換元フォルダ]ボタンをクリックし指定してください。		

No7	媒体暗号化ソフト Code=-1 Reason=C:\NBA01\DTA\暗号\H_11100001.LZH.123456 の復号化処理 (NDLC050.DecryptProcAES)でエラーが発生しました。 復号化パスワード等が誤っています。 OK	
	[エラー原因] ・ 該当都道府県／保険者／福祉事務所／市町村の暗号鍵パスワードが違っている場合に表示されます。	[対処方法] ・ メイン画面のメニューバーより [オプション(0)]→[環境設定情報] を選択し、ユーザ情報の修正画面で、該当都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号を選択し正しい暗号鍵パスワードに変更してください。 (「3.4. 復号化処理」の「復号化エラーについて」を参照)
No8	媒体暗号化ソフト Code=-1 Reason=C:\NBA01\DTA\暗号\H_11100001.LZH.123456 の復号化処理 (NDLC050.DecryptProcAES)でエラーが発生しました。 暗号化ファイルが存在しません。 OK	
	[エラー原因] ・ 変換元フォルダにリムーバブルドライブ等を指定し、[実行]ボタンのクリック前に媒体を取出し、その後 [実行] した場合に表示されます。	[対処方法] ・ 変換元フォルダの媒体は復号化処理が終了するまで取り出さないでください。 また、変換元と変換先に同じリムーバブルドライブを指定していた場合には、媒体セットの確認メッセージが表示されるまで変換元の媒体は取り出さないでください。

No9	媒体暗号化ソフト Code=-1 Reason=C:\NBA01\DTA\暗号\H_111.LZH.123456 の復号化処理 (NDLC050.DecryptProcAES) でエラーが発生しました。 パス 'C:\NBA01\DTA\暗号\H_111.LZH.123456' へのアクセスが拒否されました。 OK
	[エラー原因] - 読み取り専用のファイルを復号化しようとしたときに表示されます。 [対処方法] - 復号化で使用するファイルのプロパティより「読み取り専用」のチェックボックスを外して下さい。

A. 3. 環境設定情報でのエラーメッセージ

[環境設定情報]画面に表示されるメッセージボックス、エラー原因及び対処方法を示します。

No1	環境設定情報 現在ログインしている都道府県・保険者・福祉事務所番号は削除できません。 OK 環境設定情報 現在ログインしている都道府県・市町村番号は削除できません。 OK 環境設定情報 現在ログインしている市町村番号は削除できません。 OK	
	[エラー原因] ・ [環境設定情報]で[削除]ボタンをクリックし、現在ログインしているユーザを削除しようとしたときに表示されます。	[対処方法] ・ 削除対象のユーザ以外のユーザでログインして削除を行ってください。

No2	ユーザ情報の追加 同じ都道府県・保険者・福祉事務所番号のユーザ情報が既に登録されています。 このユーザ情報の登録はできません。 OK ユーザ情報の追加 同じ都道府県・市町村番号のユーザ情報が既に登録されています。 このユーザ情報の登録はできません。 OK ユーザ情報の追加 同じ市町村番号のユーザ情報が既に登録されています。 このユーザ情報の登録はできません。 OK [エラー原因] - 既に登録してある都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号と同じ番号のユーザ情報を、同じシステムへ登録しようとした時に表示されます。 [対処方法] - 同じシステムに対して、都道府県／保険者／福祉事務所／市町村番号が同じものは登録できません。 環境設定情報画面で、登録先のシステムのタブが正しく選択されていることを確認してください。 パスワードを変更する場合は、[修正]ボタンをクリックしてください。
-----	---

A. 4. その他のエラーメッセージ

No1	媒体暗号化ソフト（都道府県・市町村版） Ver.4  エラー 1706。製品 媒体暗号化ソフト（都道府県・市町村版） Ver.4 に対する正式なソースが見つかりません。このインストールパッケージ 'Setup_NBA400.msi' の正規のコピーを使用して、再度インストールを実行してください。 OK	
	[エラー原因] ・媒体暗号化ソフトで使用しているDLLファイル、OCXファイル等が存在しない場合に表示されます。	[対処方法] ・存在しないファイル等を復旧させる為、インストールCDをCDドライブに挿入し、[OK]をクリックしてください。

付録B. ヘルプデスクへのお問い合わせ

B. 1. ヘルプデスクへのお問い合わせ

ソフトの操作上のお問い合わせ先

「国保中央会伝送ソフト」ヘルプデスク

e-mail k-denso@trust.ocn.ne.jp

TEL 0570-059401

FAX 0570-059411

<< 受付時間 >>

請求期間（毎月1～10日）の受付時間

平日 10:00～19:00

土曜日 10:00～17:00

〔日・祝日の受付は行いません。〕

請求期間以外（毎月11日～月末）の受付時間

平日 10:00～17:00

〔土・日・祝日の受付は行いません。〕

※ 毎月1日～10日は、電話が大変つながりにくくなっておりますので、
e-mail、FAXでのお問い合わせにご協力をお願いいたします。

「国保中央会伝送ソフト」ホームページ

<https://www.kokuho.or.jp/system/care/software.html>

※ 「国保中央会伝送ソフト」のホームページに、エラー対処方法等の最新情報を掲載しております。毎月のご利用の際には、ご確認をお願いいたします。

■ ヘルプデスクへお問い合わせの前に・・・

「国保中央会伝送ソフト」ホームページに解決のヒントとなるものがないか、ご確認をお願いいたします。

■ ヘルプデスクへお問い合わせ方法

お手数ですが、ヘルプデスクへお問い合わせの際には、事前に本マニュアルの最終ページにあります問い合わせ票を印刷し、必要事項のご記入をお願いいたします。

■ メールでお問い合わせの場合

問い合わせ票の記入内容をメールに記載し、ご送付をお願いいたします。

■ FAXでお問い合わせの場合

問い合わせ票に必要事項をご記入の上、FAX送信をお願いいたします。

■ 電話でお問い合わせの場合

問い合わせ票の記入内容をお伝えください。

伝送ソフト(都道府県・市町村版)等問合わせ票

お問合わせ先 FAX 0570-059411 E-Mail k-denso@trust.ocn.ne.jp

■「よくある質問集」を国保中央会ホームページにおいてご案内しております
URL● <https://www.kokuho.or.jp/system/care/software.html>

お問合わせ内容等

お問合わせ日	令和 年 月 日	回線種類	高速回線
都道府県・市町村(保険者)番号		使用OS	Windows ()
		使用IE	Internet Explorer ()
都道府県・市町村(保険者)名等	(フリガナ)		
ご担当者名	(フリガナ)		
	様 担当部署() 役職()		
ご連絡先	TEL. () -	FAX. () -	
	メールアドレス		
環境情報	☐ 伝送通信ソフト(都道府県・市町村版) Ver.()		
	☐ 保険者エントリー機能 Ver.()		
	☐ 給付実績検索システム Ver.()		
	☐ 高額合算エントリー機能 Ver.()		
	☐ 苦情相談エントリー機能 Ver.()		
	☐ 障害者総合支援エントリー機能 Ver.()		
	☐ 媒体暗号化ソフト Ver.()		
	☐ 個人番号エントリー機能 Ver.()		
☐ その他()			

お問合わせ内容

※ 当問合わせ票は、伝送ソフト(都道府県・市町村版)等に係る操作方法及び障害報告で使用されるものであり、
制度の解釈等に係る場合、ご回答致しかねます。

【ヘルプデスク確認欄】

回答日	回答者	回答方法
令和 年 月 日		☐ FAX ☐ Mail ☐ 電話